

年間指導計画 1年

江戸川区立本一色小学校

4月	しよしゃの やくそく [教科書 巻頭] ◎書写学習の前に、机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる一連の流れを行うことができる。[知技(3)ウ(ア)]	適宜	1 書写学習の前に行う三つの確認事項(机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる)を知る。 2 以後、書写の時間の前に一連の流れを適宜実践することを知る。	【態】進んで(①)書写学習の前の確認事項を理解し(③)、学習課題に沿って(②)机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる一連の流れを実践しようとしている(④)。
しよしゃ すたーと ぶっく				
	じぶんの なまえを かこう／もじ たんけんたい [教科書P1-3] ◎自分の名前を書いたり、校内にある文字を探したりすることで、書写学習に対する関心を高めることができる。[知技(3)ウ(イ)]	2～3	1 P42-43「ひらがな あつまれ」の平仮名の五十音表から、自分の名前の文字を探して印を付ける。 2 印をつけた文字を、声に出しながら指でなぞる。 3 P1に自分の名前を書く。 4 校内の文字を探す「文字探険」を行い、見つけたものをグループで発表する。	【態】進んで(①)自分の名前の文字や校内にある文字に関心をもち(③)、学習課題に沿って(②)自分の名前を書いたり、校内にあるさまざまな文字を探したりしようとしている(④)。
	しよしゃ たいそう [教科書P4-5] ◎書写体操を行うことができる。[知技(3)ウ(ア)]		1 書写体操が姿勢や筆記具の持ち方を正しくするための準備運動であることを知る。 2 P4-5の絵を見て、書写体操の四つの動きを理解し、力を入れるところに気をつけながら、書写体操を行う。 3 書写の時間の最後に行う整理体操について知る。 4 以後の書写の時間に適宜行うことを知る。	【態】進んで(①)書写体操の四つの動きを理解し(③)、学習課題に沿って(②)書写体操を行おうとしている(④)。
	じを かく しせい [教科書P6-7] ◎文字を書くときの姿勢を正しくすることができる。[知技(3)ウ(ア)]		1 P6-7の写真を見て、文字を書くときの正しい姿勢を知る。 2 唱え歌「あしは ペったん せなかは びん…」に合わせて姿勢を確かめ、以後の書写の時間に適宜行うことを知る。 3 P7の写真を見て、タブレット端末を使う際の正しい姿勢を知る。	【知】文字を書くときの姿勢を正しくしている。 【思】唱え歌に合わせて、文字を書くときの姿勢を確かめている。 【態】積極的に(①)文字を書くときの姿勢を理解し(③)、書写学習の見通しをもって(②)姿勢を正しくしようとしている(④)。
	えんぴつの もちかた [教科書P8-9] ◎筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。[知技(3)ウ(ア)]		1 P8-9の写真や唱え歌「えんぴつ つまんで…」を見て、鉛筆の持ち方を理解する。 2 P9の下絵を見て手の置き方を知る。 3 実際に2の絵の上に手を置いて、丸枠内の絵と比べ、正しい鉛筆の持ち方ができているか確認する。	【知】筆記具の持ち方を正しくして書いている。 【思】唱え歌に合わせて、筆記具の正しい持ち方を確かめている。 【態】積極的に(①)筆記具の正しい持ち方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)筆記具の持ち方を正しくしようとしている(④)。
	いろいろな せんを かこう [教科書P10-11] ◎正しい姿勢と筆記具の持ち方で、いろいろな線を書くことができる。[知技(3)ウ(イ)]		1 文字を書くときの正しい姿勢と鉛筆の持ち方で、P10-11のいろいろな線を書く。	【知】文字を書くときの姿勢と筆記具の持ち方を正しくして書いている。 【思】いろいろな線を書きながら、文字を書くときの正しい姿勢と筆記具の持ち方を確かめている。 【態】積極的に(①)文字を書くときの正しい姿勢と筆記具の持ち方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)いろいろな線を書こうとしている(④)。

5月	ひらがな			
	「とめ」と「はらい」 [教科書P12-13] ◎点画の書き方（止め・払い）に注意しながら、丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	2	1 「く」を指でなぞり、止めの書き方を理解する。 2 止めの書き方に気をつけて、止めをもつ線や「く」を鉛筆でなぞってから書く。 3 「つ」を指でなぞり、払いの書き方を理解する。 4 払いの書き方に気をつけて、払いをもつ線や「つ」を鉛筆でなぞってから書く。	【知】点画の書き方（止め・払い）に注意しながら、丁寧に書いている。 【思】「く」「つ」をなぞったり書いたりするなかで、点画の書き方（止め・払い）を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方（止め・払い）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「く」「つ」をなぞったり書いたりしようとしている(④)。
	「はね」[教科書P14] ◎点画の書き方（はね）に注意しながら、丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	2	1 「か」を指でなぞり、はねの書き方を理解する。 2 はねの書き方に気をつけて、はねをもつ線や「か」を鉛筆でなぞってから書く。	【知】点画の書き方（はね）に注意しながら、丁寧に書いている。 【思】「か」をなぞったり書いたりするなかで、点画の書き方（はね）を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方（はね）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「か」をなぞったり書いたりしようとしている(④)。
6月	かきじゅん [教科書P15] ◎筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]		1 筆順番号を確認しながら「こい」を指でなぞり、平仮名には「書き順」があることを知る。 2 筆順に従って、「こ」「い」を鉛筆でなぞってから書く。	【知】筆順に従って丁寧に書いている。 【思】「こ」「い」をなぞったり書いたりするなかで、筆順を確かめている。 【態】進んで(①)筆順に気をつけ(③)、学習課題に沿って(②)「こ」「い」をなぞったり書いたりしようとしている(④)。
	「まがり」と「おれ」 [教科書P16-17] ◎点画の書き方（曲がり・折れ）に注意しながら、丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	2	1 「の」を指でなぞり、曲がりの書き方を知る。 2 曲がりの書き方に気をつけて、曲がりをもつ線や「の」を鉛筆でなぞってから書く。 3 「そ」を指でなぞり、折れの書き方を知る。 4 折れや折り返し線の書き方に気をつけて、折れをもつ線や「そ」を鉛筆でなぞってから書く。	【知】点画の書き方（曲がり・折れ）に注意しながら、丁寧に書いている。 【思】「の」「そ」をなぞったり書いたりするなかで、点画の書き方（曲がり・折れ）を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方（曲がり・折れ）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「の」「そ」をなぞったり書いたりしようとしている(④)。
	「むすび」[教科書P18] ◎点画の書き方（結び）に注意しながら、丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	2	1 「ます」の赤い線を指でなぞり、横長の結びと縦長の結びの書き方と形の違いを知る。 2 結びの書き方に気をつけて、結びをもつ線や「ます」を鉛筆でなぞる。	【知】点画の書き方（結び）に注意しながら、丁寧に書いている。 【思】「ます」をなぞるなかで、点画の書き方（結び）を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方（結び）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「ます」をなぞろうとしている(④)。
7月	じの かたち [教科書P19] ◎文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]		1 「に・も・つ」の文字と絵を比べて、文字には真四角・縦長四角・横長四角などのおおよその形（外形）があることを理解する。 2 「お・に・く・も・へ・い」の外形を意識して、鉛筆でなぞる。	【知】文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】「お・に・く・も・へ・い」をなぞるなかで、文字の形を確かめている。 【態】進んで(①)文字の形に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「お・に・く・も・へ・い」をなぞろうとしている(④)。

	ことば [教科書P20-21] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	1	1 P20-21の書き文字の中から、止め・払い・はね・曲がり・折れ・結びの部分を見つけ、鉛筆で囲む。 2 促音を書く際の位置を知る。 3 これまでに学習した点画の書き方（止め・払い・はね・曲がり・折れ・結び）や文字の形、筆順に気をつけて、「くつ」「かっぱ」などの言葉を鉛筆でなぞる。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】「くつ」「かっぱ」などの言葉をなぞるなかで、点画の書き方や文字の形、筆順を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順に気をつけ(③)、学習課題に沿って(②)「くつ」「かっぱ」などの言葉をなぞろうとしている(④)。
	しょしゃ ひろげたい① くこくご [教科書P22-23] ◎点画の書き方や、ます目の用紙・罫線の用紙の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)] ○語と語や文と文との続き方を確かめて書くことができる。 [B(1)ウ・エ、(2)ア・イ]	1	1 ます目の用紙と罫線の用紙それぞれの、文の書き始めや句読点などの書き方を知る。 2 好きなことを紹介する文を、姿勢や鉛筆の持ち方、平仮名の筆順や終筆・送筆の書き方に気をつけて、丁寧に書く。(または、P22-23の文例を視写する。)	【知】点画の書き方や、ます目の用紙・罫線の用紙の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】好きなことを紹介する文を書くなかで、点画の書き方や、ます目の用紙・罫線の用紙の書き方を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方や、ます目の用紙・罫線の用紙の書き方に注意し(③)、学習課題に沿って(②)好きなことを紹介する文を書こうとしている(④)。
	しょしゃ ひろげたい② くせいかつ [教科書P24] ◎点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)] ○観察したことを記録する文章を書くことができる。[B(1)ウ・エ、(2)ア]	適宜	1 身の回りの文字やこれまでの学習のなかから、横書きで書かれたものを探す。 2 横書きで書くときの文の書き始めや句読点などの書き方、数字の書き方を知る。 3 横書きで観察日記を書く。(または、P24の文例を視写する。)	【知】点画の書き方や文字の形、横書きの書き方、数字の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】横書きで観察日記を書くなかで、点画の書き方や文字の形、横書きの書き方を確かめている。 【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意し(③)、これまでの学習を生かして(②)横書きで観察日記を書こうとしている(④)。
	こんな ことは ないかな [教科書P25] ◎点画の書き方や罫線の用紙の書き方に注意しながら、丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	適宜	1 P25の△の例の書き方を見て、どうすれば改善されるかを友達と話し合う。 2 P18で結びの書き方、P17で折れの書き方、P23で罫線の用紙の書き方を確かめる。 3 間違えやすいポイントに気をつけて、△の例を書き直す。	【知】点画の書き方や罫線の用紙の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】点画の書き方や罫線の用紙の書き方を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方や罫線の用紙の書き方を確かめ(③)、これまでの学習を生かして(②)間違えやすいポイントに気をつけて書こうとしている(④)。
9月	にて いる ひらがな [教科書P26] ◎文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	1～2	1 「ち-ら」「さ-き」をそれぞれ比べて、どこが違うかを話し合う。 2 「ね-れ-わ」「あ-め-ぬ」をそれぞれ比べて、どこが違うかを話し合う。 3 違いに気をつけて、「ね-れ-わ」「あ-め-ぬ」などの文字を鉛筆でなぞる。	【知】文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】「ね-れ-わ」「あ-め-ぬ」などをなぞるなかで、文字の形の違いを確かめている。 【態】進んで(①)文字の形の違いに気をつけ(③)、学習課題に沿って(②)「ね-れ-わ」「あ-め-ぬ」などをなぞろうとしている(④)。

	みずふでで かいて みよう [教科書P27] ◎点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)、内容の取扱い カ(エ)]	適宜	1「線の太さが変わる」「『はね』や『はらい』の書き方がよくわかる」など、水書用筆の特徴を知る。 2水書用筆の使い方を理解する。 3画の終筆（止め・はね・払い）に気をつけて、止め・はね・払いをもつ点画を繰り返し水書用筆で書く。	【知】点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、水書用筆で丁寧に書いている。 【思】水書用筆で書くなかで、点画の書き方（止め・はね・払い）を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方（止め・はね・払い）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)水書用筆で書こうとしている(④)。
	ひらがな あつまれ [教科書P42-43] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	1	1促音・拗音・濁点・半濁点・句読点の書き方を確かめる。 2平仮名の五十音表を参考にしながら、点画の書き方、文字の形、筆順などに気をつけて、自分の名前を平仮名で書く。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】自分の名前を書くなかで、点画の書き方や文字の形、筆順を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順に気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)自分の名前を書こうとしている(④)。
10月	かたかな			
	かたかなの かきかた [教科書P28-29] ◎点画の書き方（終筆・送筆）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。 [知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	2	1「パン」を指でなぞり、画の終筆（止め・払い）の書き方を確かめる。 2「オ・ス・セ」を見て、画の終筆（はね）と、送筆（折れ・曲がり）の書き方を確かめる。 3終筆・送筆の書き方に気をつけて、「ゼリー」「オレンジ」「スープ」「パン」を鉛筆でなぞる。	【知】点画の書き方（終筆・送筆）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】「パン」「オ・ス・セ」をなぞったり見たりするなかで、点画の書き方（終筆・送筆）を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方（終筆・送筆）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「ゼリー」「オレンジ」「スープ」「パン」をなぞろうとしている(④)。
	かたかな あつまれ [教科書P44-45] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	1	1促音・拗音・長音の書き方を確かめ、「サッカー」「ゴール」を鉛筆でなぞる。 2片仮名の五十音表を参考にしながら、点画の書き方、文字の形、筆順などに気をつけて、自分の名前を片仮名で書く。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】片仮名で自分の名前を書くなかで、点画の書き方や文字の形、筆順を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順に気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)自分の名前を書こうとしている(④)。
11月	かん字			
	「とめ」「はね」「はらい」 [教科書P30-31] ◎点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)]	2	1「小・大」を指でなぞり、漢字の画の終筆（止め・はね・払い）の書き方を理解する。 2画の終筆（止め・はね・払い）に気をつけて、止め・はね・払いをもつ線や漢字を鉛筆でなぞる。	【知】点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】「小」「大」をなぞるなかで、点画の書き方（止め・はね・払い）を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方（止め・はね・払い）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)止め・はね・払いをもつ線や漢字をなぞろうとしている(④)。

	「おれ」「まがり」「そり」 [教科書P32] ◎点画の書き方（折れ・曲がり・反り）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)]	2	1「日・七・子」を指でなぞり、漢字の画の送筆（折れ・曲がり・反り）の書き方を理解する。 2画の送筆（折れ・曲がり・反り）に気をつけて、折れ・曲がり・反りをもつ線や漢字を鉛筆でなぞる。	【知】点画の書き方（折れ・曲がり・反り）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】「日」「七」「子」をなぞるなかで、点画の書き方（折れ・曲がり・反り）を確かめている。 【態】進んで(1)点画の書き方（折れ・曲がり・反り）に注意し(3)、学習課題に沿って(2)折れ・曲がり・反りをもつ線や漢字をなぞろうとしている(4)。
	かきじゅん [教科書P33] ◎筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)]	1	1「三」と「川」を見て、「上から下へ」「左から右へ」という筆順の原則を理解する。 2画の始筆・送筆・終筆の書き方を意識しながら、筆順の原則に従って、「三・二・空・テ」「川・人・八・ツ」を鉛筆でなぞる。	【知】筆順に従って丁寧に書いている。 【思】「三・二・空・テ」「川・人・八・ツ」を書くなかで、筆順とその原則を確かめている。 【態】進んで(1)筆順に気をつけながら(3)、学習課題に沿って(2)「三・二・空・テ」「川・人・八・ツ」をなぞろうとしている(4)。
12月	にて いる かん字と かたかな [教科書P34-35] ◎点画の長短や方向に注意しながら、文字を正しく書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	2～3	1「三」と「ミ」を比べて、どこが違うかを話し合う。 2「八・ハ」、「ソ・ツ・ン・シ」をそれぞれ比べて、どこが違うかを話し合う。 3画の長さや向きに気をつけて、「八人」「ハム」「シーソー」「ツナサンド」を鉛筆でなぞる。	【知】点画の長短や方向に注意しながら、文字を正しく書いている。 【思】点画の長短や方向を確かめている。 【態】進んで(1)点画の長短や方向の違いに注意し(3)、今までの学習を生かして(2)「八人」「ハム」「シーソー」「ツナサンド」をなぞろうとしている(4)。
	字の かたち [教科書P36] ◎文字の形に注意しながら書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)]		1「十・二・月」や絵を見て、漢字にも真四角・横長四角・縦長四角などのおおよその形（外形）があることを理解する。 2文字の形に気をつけて、「十・二・月」をなぞってから書く。	【知】文字の形に注意しながら書いている。 【思】「十」「二」「月」を書くなかで、文字の形を確かめている。 【態】進んで(1)文字の形に注意し(3)、学習課題に沿って(2)「十」「二」「月」を書こうとしている(4)。
	かん字 しらべたい [教科書P37] ◎漢字の成り立ちを知り、丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)]	適宜	1漢字がずっと昔にできたことを知る。 2「日・山・川」の漢字の成り立ち（象形文字）を理解して丁寧に書く。	【知】「日」「山」「川」の成り立ちを知り、丁寧に書いている。 【思】「日」「山」「川」を丁寧に書きながら、その成り立ちを確かめている。 【態】進んで(1)「日」「山」「川」の成り立ちを理解し(3)、学習課題に沿って(2)丁寧に書こうとしている(4)。
1月	まとめ			
2月	かきぞめ [教科書P38-39] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)]	6～8	1書き初めとは何かを知る。 2フェルトペンの持ち方を確認し、フェルトペンで「ふじ山」（「なかよし」）を書く。 3今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、鉛筆で文章を書く。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に(1)習得した知識・技能を振り返り(3)、今までの学習を生かして(2)書き初めを書こうとしている(4)。
3月				

	一年生の まとめ [教科書P40~41] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)] ○経験したことを報告する文章を書くことができる。[B (1)ウ・エ、(2)ア]		1 第1学年で学習した知識・技能（正しい姿勢と鉛筆の持ち方、終筆《止め・はね・払い》と送筆《曲がり・折れ・結び・反り》の書き方、筆順、文字の形）を確認する。 2「一年生の思い出」を書くときに生かせることを考える。 3 今までに学習した知識・技能を生かして、鉛筆で一年生の思い出と自分の名前を書く。(または、P40の文例を視写する。) 4P1で書いた自分の名前と比べて、どのような点が改善されたかを確認する。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】「一年生の思い出」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)「一年生の思い出」を書こうとしている(④)。
	空に 大きく かこう [教科書P48] ◎点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら書くことができる。 [知技(1)エ、(3)ウ(イ)]	適宜	1P30~31の学習と関連させて、漢字の画の終筆（止め・はね・払い）の書き方を確認する。 2 腕を大きく動かして、画の終筆（止め・はね・払い）を意識しながら、「小」を空書きする。	【知】点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、丁寧に空書きしている。 【思】空書きをするなかで、点画の書き方（止め・はね・払い）を確認している。 【態】進んで(①)点画の書き方（止め・はね・払い）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)空書きしようとしている(④)。
適宜	しりょう			
	一年生で ならう かん字 [教科書P46~47] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	適宜	1 第1学年で学習する漢字の画の始筆・送筆・終筆の書き方、筆順の原則、文字の形などを適宜確認する。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけて(③)、今までの学習を生かして(②)丁寧に書こうとしている(④)。

4月	書しゃの やくそく 〔教科書 巻頭〕 ◎書写学習の前に、机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる一連の流れを行うことができる。〔知技(3)ウ(ア)〕	適宜	1 書写学習の前に行う三つの確認事項(机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる)を理解する。 2 以後、書写の時間の前に一連の流れを適宜実践することを理解する。 3 目次を見て、1年間の学習内容を知る。	【態】進んで(①)書写学習の前の確認事項を理解し(③)、学習課題に沿って(②)机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる一連の流れを実践しようとしている(④)。
いつも 気を つけよう				
	字を 書く しせい 〔教科書P2-3〕 ◎文字を書くときの姿勢を正しくすることができる。〔知技(3)ウ(ア)〕	2～3	1 P2-3の写真を見て、文字を書くときの正しい姿勢を確かめる。 2 唱歌「足は ぺったん せなかは ぴん…」に合わせて、友達と姿勢を確かめ合う。 3 P3の写真を見て、タブレット端末を使う際の正しい姿勢を確かめる。 4 文字を書くときの正しい姿勢で、任意の線や文字を書いてみる。	【知】文字を書くときの姿勢を正しくしている。 【思】唱歌に合わせて、文字を書くときの姿勢を確かめている。 【態】積極的に(①)文字を書くときの姿勢を確かめ(③)、書写学習の見通しをもって(②)姿勢を正しくしようとしている(④)。
	えんぴつの もち方 〔教科書P4-5〕 ◎筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。〔知技(3)ウ(ア)〕		1 P5の写真や唱歌「えんぴつ つまんで…」を見て、鉛筆の持ち方を確かめる。 2 P5の下絵を見て、手の置き方を確かめる。 3 文字を書くときの正しい姿勢と鉛筆の持ち方で、任意の線や文字を書いてみる。	【知】筆記具の持ち方を正しくして、書こうとしている。 【思】任意の線や文字を書きながら、正しい筆記具の持ち方を確かめている。 【態】積極的に(①)筆記具の正しい持ち方を確かめ(③)、書写学習の見通しをもって(②)任意の線や文字を書こうとしている(④)。
	書しゃの 学しゅうばめん 〔教科書P6-7〕 ◎教材内に提出される具体的な学習活動を知り、学習の見通しをもつことができる。〔知技(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)〕		1 以後の教材内に提出される具体的な学習活動をアイコンと対応させながら知り、学習の見通しをもつ。	【態】積極的に(①)教材内に提出される具体的な学習活動を知り(③)、書写学習の見通しをもって(②)以後の学習活動に取り組もうとしている(④)。
5月	点や 画の 組み立て			
	書きじゅん〔教科書P8-9〕 ◎筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)〕	2	1 「三・川・月・中」と「立・林・円・車」を指でなぞり、筆順の原則を理解する。 2 「日」と「百」を見て、同じ部分は同じ筆順で書くことを理解する。 3 筆順の原則に従って、下段の漢字を鉛筆で書く。	【知】筆順に従って丁寧に書いている。 【思】「三・川・月・中」と「立・林・円・車」をなぞるなかで、筆順の原則を確かめている。 【態】進んで(①)筆順とその原則を確かめながら(③)、学習課題に沿って(②)漢字を書こうとしている(④)。
	点と 画の 名前〔教科書P10-11〕 ◎漢字が点画の組み合わせでできていることを理解し、点画の書き方に注意しながら書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)〕	2	1 漢字の点画の名称を点画の形の特徴と対応させて覚える。 2 「犬・四」を見て、漢字は点や画の組み合わせでできていることを理解し、点画の名称を空欄に書き込む。 3 P37「一年生で 学んだ かん字」から任意の漢字を選び、点画を意識しながら書く。	【知】漢字が点画の組み合わせでできていることを理解し、点画の名称を覚えている。 【思】点画の形の特徴と対応させて、点画の名称を確かめている。 【態】積極的に(①)点画の名称を覚え(③)、学習課題に沿って(②)任意の漢字を書こうとしている(④)。
6月	点や 画の 間〔教科書P12〕 ◎点や画の間に注意して、文字を正しく書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)〕	2～3	1 二つの「目」を比べて、⑦の字形を整えて書くためにはどうしたらよいかを考え、話し合う。 2 点や同じ種類の画が複数並んでいる場合、その間を同じくらい空けて書くとき字形が整うことを理解する。 3 点や画の間に気をつけて、「目」と「魚」を鉛筆で書く。	【知】点や画の間に注意して、文字を正しく書いている。 【思】「目」「魚」を書くなかで、点画の間を確かめている。 【態】積極的に(①)点や画の間に気をつけて(③)、学習課題に沿って(②)「目」と「魚」を書こうとしている(④)。

	画の 長さ [教科書P13] ◎点画の長短に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]		1 二つの「言」を比べて、㊦の字形を整えて書くためにはどうしたらよいかを考え、話し合う。 2 横画が複数ある場合、一画だけ長く書くと字形が整うことを理解する。 3 横画の長さに気をつけて、「言」と「書」を鉛筆で書く。	【知】点画の長短に注意して、文字を正しく書いている。 【思】「言」「書」を書くなかで、点画の長短を確かめている。 【態】積極的に(①)点画の長短に気をつけて(③)、学習課題に沿って(②)「言」と「書」を書こうとしている(④)。
	画の つき方と 交わり方 [教科書P14-15] ◎点画相互の接し方や交わり方に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	2	1 「八・入・文」を指でなぞり、画と画が「離れる・付く・交わる」の違いを理解する。 2 画と画が付くか交わるかで違う漢字になる場合があることを理解する。 3 画の付き方と交わり方に気をつけて、空欄に入る漢字を鉛筆で書く。	【知】点画相互の接し方や交わり方に注意して、文字を正しく書いている。 【思】「八・入・文」をなぞるなかで、点画の接し方や交わり方を確かめている。 【態】積極的に(①)点画の接し方や交わり方に気をつけて(③)、学習課題に沿って(②)空欄に入る漢字を正しく書こうとしている(④)。
7月	ことば [教科書P16-17] ◎今までに学習した知識・技能を生かして丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	1	1 「スイミー」の文章を、声に出して読む。 2 今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、「スイミー」の文章を鉛筆でなぞる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】「スイミー」の文章をなぞるなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)「スイミー」の文章をなぞろうとしている(④)。
	書しゃ 広げたい①<国語> [教科書P18-19] ◎原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)・(ウ)] ○内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。[B(1)ウ・エ、(2)ア]	2	1 原稿用紙の使い方(題名・名前の書き方、句読点を書く位置、会話文の書き方など)を知る。 2 始め・中・終わりを意識して、おもしろいと思ったものを知らせる文章を考える。 3 原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形に気をつけて、考えた文章を原稿用紙に書く。(または、P18-19の文例を視写する。)	【知】原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】原稿用紙に文章を書くなかで、原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形を確かめている。 【態】進んで(①)原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形に注意し(③)、学習課題に沿って(②)原稿用紙に書こうとしている(④)。
	書しゃ 広げたい②<生活> [教科書P20] ◎点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)] ○伝えたいことを簡単な手紙(お礼状)に書くことができる。[B(1)ウ・エ、(2)イ]	適宜	1 横書きで書くときの文の書き始めや促音・拗音・句読点の書き方・罫線への収め方などを理解する。 2 横書きでお礼状を書く。(または、P20の文例を視写する。)	【知】点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】お礼状を書くなかで、点画の書き方や文字の形、横書きの書き方を確かめている。 【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の形、筆順、横書きの書き方に気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)お礼状を書こうとしている(④)。
	こんな ことは ないかな [教科書P21] ◎点画の書き方や文字の形、連絡帳の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)・(ウ)] ○連絡帳に正しく記録することができる。[B(1)ウ・エ]		1 連絡帳の読みやすい書き方を知る。 2 自分の連絡帳を見て、後から読みやすくするために工夫できることを考える。 3 学習したことを生かして連絡帳を書く。	【知】点画の書き方や文字の形、連絡帳の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】連絡帳を書くなかで、今までに学習したことをどのように生かすかを考えている。 【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の形、筆順、連絡帳の書き方に気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)連絡帳を書こうとしている(④)。

9月	「はらい」の ほうこう [教科書P22-23] ◎点画（払い）の方向に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	2	1「千・人・天・月」の左払いを指でなぞり、左払いにはいろいろな方向があること、払いの方向に気をつけて書くと字形が整うことを理解する。 2さまざまな方向の左払いと、同じ方向の左払いをもつ漢字を線で結び、方向の違いを確かめる。 3右払いの方向にも違いがあることを知る。 4払いの方向の違いに気をつけて、「春風」「手足」を鉛筆で書く。	【知】点画（払い）の方向に注意して、文字を正しく書いている。 【思】「千・人・天・月」の左払いをなぞるなかで、点画（払い）の方向の違いを確かめている。 【態】積極的に①点画の方向に注意して③、学習課題に沿って②「春風」「手足」を書こうとしている④。
	「おれ」の ほうこう [教科書P24] ◎点画（折れ）の方向に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	2	1「日・口」の折れを指でなぞり、折れの方向には違いがあること、折れの方向に気をつけて書くと字形が整うことを理解する。 2折れの方向の違いに気をつけて、「日・円・口・出」を鉛筆で書く。	【知】点画（折れ）の方向に注意して、文字を正しく書いている。 【思】「日・口」をなぞるなかで、点画（折れ）の方向の違いを確かめている。 【態】積極的に①点画の方向に注意して③、学習課題に沿って②「日・円・口・出」を書こうとしている④。
10月	「そり」の ほうこう [教科書P25] ◎点画（反り）の方向に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	2～3	1「気・思」の反りを指でなぞり、反りの方向には違いがあること、反りの方向に気をつけて書くと字形が整うことを理解する。 2反りと曲がりの違いを確かめる。 3反りの方向の違いに気をつけて、「気・思・手・子」を鉛筆で書く。	【知】点画（反り）の方向に注意して、文字を正しく書いている。 【思】「気・思」をなぞるなかで、点画（反り）の方向の違いを確かめている。 【態】積極的に①点画の方向に注意し③、学習課題に沿って②「気・思・手・子」を書こうとしている④。
	「点」の ほうこう [教科書P26] ◎点画（点）の方向に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]		1「立・小・点」の点を指でなぞり、点の方向には違いがあること、点の方向に気をつけて書くと字形が整うことを理解する。 2「雨音」「金魚」の点がそれぞれどの方向かを考えて、鉛筆で書く。	【知】点画（点）の方向に注意して、文字を正しく書いている。 【思】「立・小・点」をなぞるなかで、点画（点）の方向の違いを確かめている。 【態】積極的に①点画の方向に注意し③、学習課題に沿って②「雨音」「金魚」を書こうとしている④。
11月	水ふでで 書いて みよう [教科書P27] ◎点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)、内容の取扱いカ(エ)]	適宜	1水書用筆の使い方を確かめ、P27「かん字の たし算」を見て、「左払い」と「右払い」、「日」と「十」を水書用筆で書く。 21で書いた「左払い」と「右払い」を組み合わせることができる漢字、「日」と「十」を組み合わせることができる漢字を考え、点画の書き方に気をつけて水書用筆で書く。 3画の終筆に気をつけて、「八・人・入」「早」を鉛筆で書く。	【知】点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、水書用筆で丁寧に書いている。 【思】水書用筆で書くなかで、点画の書き方（止め・はね・払い）を確かめている。 【態】進んで①点画の書き方（止め・はね・払い）に注意し③、学習課題に沿って②水書用筆で書こうとしている④。
字の 形				
	字の 形 [教科書P28] ◎文字の形（外形）に注意しながら、丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	2	1「雨・月・西・上・下・手」を見て、漢字にはどのような形（外形）があるかを調べる。 2外形に気をつけて書くと、字形が整うことを知る。 3三つの「左」「寺」から正しい外形の漢字を選び、外形に気をつけて鉛筆で書く。	【知】文字の形（外形）に注意しながら、丁寧に書いている。 【思】「雨・月・西・上・下・手」を見るなかで、文字の形（外形）を確かめている。 【態】進んで①文字の形（外形）に注意し③、学習課題に沿って②「左」「寺」を書こうとしている④。
12月	字の 中心 [教科書P29] ◎文字の形（中心）に注意しながら、丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	1	1補助線をヒントに、「本・文・合・二」の中心を探す。 2「縦画」「点」「画と画が付くところ」「横画の真ん中」が文字の中心になることを理解する。 3文字の中心を見つけて、「出口」「天空」を鉛筆で書く。	【知】文字の形（中心）に注意しながら、丁寧に書いている。 【思】「本・文・合・二」を見るなかで、文字の形（中心）を確かめている。 【態】進んで①文字の形（中心）に注意し③、学習課題に沿って②「出口」「天空」を書こうとしている④。

1月	まとめ			
2月	書きぞめ [教科書P30-31]	4～5	1書き初めとは何かについて、確かめる。 2フェルトペンの持ち方を確認し、フェルトペンで「元氣にあいさつ」（「大きなゆめ」）を書く。 3これまでに学習したことに気をつけて、鉛筆で書き初めの文章を書く。	【知】習得した知識・技能を生かして書いている。 【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に(①) 習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書こうとしている(④)。
3月	◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)]			
	二年生の まとめ [教科書P32-33] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)]	3～4	1P32-33『たいせつ』のまとめを見て、第2学年で学習した知識・技能を確認する。 2確認したことを生かして「見・星・上・夏」「夜」「空」を鉛筆で書き直す。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】「見・星・上・夏」「夜」「空」を書き直すなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで(①) 習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)「見・星・上・夏」「夜」「空」を書き直そうとしている(④)。
	一年間の 学びを ふりかえろう [教科書P34-35] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)] ○経験したことを報告する文章を書くことができる。[B(1)ウ・エ、(2)ア]		1今までに学習した知識・技能を生かして、鉛筆で「一年間の思い出」を書く。(または、P34の文例を視写する。) 21を書くときに気をつけたことを、P35の「書しやのことば」を使って友達どうして伝え合う。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】「一年間の思い出」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで(①) 習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)「一年間の思い出」を書こうとしている(④)。
適宜	しりょう			
	ひらがな／かたかな／数字 [教科書P36] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	適宜	1平仮名・片仮名の筆使い、筆順、数字の書き方などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)丁寧に書こうとしている(④)。
	一年生で 学んだ かん字 [教科書P37] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]		1第1学年で学習した漢字について、点画の書き方、文字の形、筆順などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】積極的に(①) 点画の書き方や文字の形、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かして(②)丁寧に書こうとしている(④)。
	二年生で 学ぶ かん字 [教科書P38-39] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]		1第2学年で学習する漢字について、点画の書き方、文字の形、筆順などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)丁寧に書こうとしている(④)。
	えんぴつの ひみつ[教科書P40] ◎鉛筆の作り方を理解し、筆記具への関心を高めることができる。[知技(3)ウ(ア)]	1	1P40の説明や写真を見て、鉛筆の材料や芯の濃さの種類、作り方を知る。 2理解したことや感じたことを友達と話し合い、筆記具への関心を高める。	【知】鉛筆の作り方を理解している。 【態】進んで(①) 鉛筆の作り方を理解し(③)、今までの学習を生かして(②)理解したことや感じたことを話し合おうとしている(④)。
	筆を つかった 学しゅう〈はってん〉[教科書P41] ◎3年生から毛筆学習が始まることを知り、学習への興味を高めることができる。[3・4年知技(3)エ(ウ)]	適宜	1第3学年から毛筆を使った学習が始まることを知る。	【知】3年生から毛筆を使った学習が始まることを理解している。 【態】積極的に(①) 毛筆について知ろうとし(②)、学習の見通しをもって(②)3年生から始まる毛筆学習への興味を高めようとしている(④)。

年間指導計画 3年

江戸川区立本一色小学校

4月	書写のやくそく〔教科書 巻頭〕 ◎書写学習の前に、机上の整理、書くための準備運動、姿勢・持ち方を確かめる一連の流れを行うことができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	適宜	1 書写学習の前に行う三つの確認事項(机上の整理、書くための準備運動、姿勢・持ち方を確かめる)を理解する。 2 以後、書写の時間の前に一連の流れを適宜実践することを理解する。 3 目次を見て、1年間の学習内容を知る。	【態】進んで(①)書写学習の前の確認事項を理解し(③)、学習課題に沿って(②)机上の整理、書くための準備運動、姿勢・持ち方を確かめる一連の流れを実践しようとしている(④)。
毛筆スタートブック				
	毛筆のひみつ〔教科書P2-3〕 ◎毛筆の特徴や、毛筆を使用した学習の意義について理解し、書写学習への意欲を高めることができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	毛筆 2	1 第3学年から毛筆を使用した学習が始まることを知る。 2 P2-3を見て毛筆の特徴を知るとともに、毛筆で学習する意義を考え、グループで話し合う。	【知】毛筆の特徴や、毛筆を使用した学習の意義を理解している。 【思】〔毛筆の特徴を確かめている。〕 【態】進んで(①)毛筆の特徴を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)毛筆で学習する意義を話し合おうとしている(④)。
	用具のじゅんぴ〔教科書P4-5〕 ◎毛筆用具の準備のしかたを理解することができる。〔知技(3)エ(ウ)〕		1 P4-5の写真と解説を見て、毛筆用具の名称を知り、準備のしかたを理解する。 2 P5の写真と解説を見て、墨のすり方を知る。 3 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】毛筆用具の準備のしかたを理解している。 【思】〔毛筆用具の準備のしかたを確かめている。〕 【態】進んで(①)毛筆用具の準備のしかたを理解し(③)、学習の見通しをもって(②)適切に扱おうとしている(④)。
	書くときのしせい／筆の持ち方〔教科書P6-7〕 ◎毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を理解して、姿勢や持ち方を正しくすることができる。〔知技(3)エ(ウ)〕		1 P6の写真を見て、毛筆で書くときの姿勢を理解する。 2 P7下段の唱え歌「足はべったん せなかはびん…」に合わせて確かめながら、姿勢を正しくする練習をする。 3 P7上段の写真を見て、筆の持ち方を理解する。 4 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を正しくしている。 【思】〔正しい姿勢や筆の持ち方を確かめている。〕 【態】進んで(①)毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)姿勢や持ち方を正しくしようとしている(④)。
	えんぴつとくらべよう／用具のかたづけ〔教科書P8-9〕 ◎毛筆の持ち方を理解して、正しい持ち方で書くことができる。〔知技(3)エ(ウ)〕 ◎毛筆用具の片づけ方を理解することができる。〔知技(3)エ(ウ)〕		1 P8上段の写真を見て、硬筆で書くときの姿勢と比べながら、筆を持つときはひじを上げること、鉛筆よりも立てて持つことを理解する。 2 P8下段の写真を見て、毛筆で書くときの腕の使い方を理解し、実際に筆を持って動かしてみる。 3 P9の写真や解説を見て、毛筆用具の片づけ方を理解する。 4 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】筆の持ち方や腕の動かし方、毛筆用具の片づけ方を理解している。 【思】〔筆の正しい持ち方や腕の動かし方、毛筆用具の片づけ方を確かめている。〕 【態】進んで(①)筆の持ち方や腕の動かし方、毛筆用具の片づけ方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)正しい持ち方で腕を動かし、毛筆用具を適切に扱おうとしている(④)。
	学習の進め方〔教科書P10-11〕 ◎学習の進め方を理解することができる。〔知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕		1 P10-11上段を見て、学習の進め方を理解する。 2 P10-11下段を見て、タブレット端末を使う姿勢や活用のしかたを理解する。	【知】学習の進め方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。 【思】〔学習の進め方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめている。〕 【態】進んで(①)書写学習の進め方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解し(③)、学習課題に沿って(②)学習を進めたりタブレット端末を活用したりしようとしている(④)。

	ほ先の向きとじくのかたむき／空書き〔教科書P12-13〕 ◎毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを理解することができる。〔知技(3)エ(ウ)〕		1 毛筆で書くときの穂先の向きと軸の傾きについて、気をつけるポイントを理解する。 2 筆で書く前に空書きをして、穂先の向きや書くときの動きを確かめるとよいことを知る。 3 手のひらを穂に見立て、腕を大きく動かして、横画を空書きする。 4 正しい姿勢と筆の持ち方に気をつけて、毛筆で任意の線を書く。	【知】毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを理解している。 【思】毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを確かめている。 【態】進んで(①)毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを理解し(③)、学習課題に沿って(②)空書きをしたり、正しい姿勢と持ち方に気をつけて任意の線を書いたりしようとしている(④)。
5月	漢字の筆使い			
	点画のしゅるい〔教科書P14-15〕 ◎点画の種類を理解することができる。〔知技(3)ウ・エ(ウ)〕	毛筆 1～2	1 漢字が点画で構成されていること、点画には名称があることを確かめる。 2 「二・土・日・木・小・元」の中の点線で示された点画を指でなぞり、空欄にその名称を書き込む。	【知】点画の種類を理解している。 【思】点画の種類を、形の特徴と名称とを関連づけて確かめている。 【態】進んで(①)点画の持ち方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)点画を指でなぞり、その名称を書こうとしている(④)。
	「横画」〔教科書P16-17〕 ◎毛筆を使用して、横画の書き方への理解を深めて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	毛筆 2	1 P16上段の図と解説を見て、横画の始筆・送筆・終筆の筆使いについて理解する。 2 墨の付いていない筆で横画をなぞり、穂先がどこを通るかを考える。 3 P16下段の「たいせつ」を見て、横画の書き方のポイントを確認する。 4 空書きした後、横画の筆使いに気をつけて、毛筆で「二」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「二・一・三」を鉛筆でなぞる。	【知】毛筆を使用して、横画の書き方への理解を深めて書いている。 【思】毛筆で「二」を書写するなかで、横画の書き方を確かめている。 【態】進んで(①)横画の書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)横画をもつ漢字を書こうとしている(④)。
6月	「たて画」〔教科書P18-19〕 ◎毛筆を使用して、縦画の書き方への理解を深めて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	毛筆 2	1 P18上段の図と解説を見て、縦画の始筆・送筆・終筆の筆使いについて理解する。 2 墨の付いていない筆で縦画をなぞり、穂先がどこを通るかを考える。 3 P18下段の「たいせつ」を見て、縦画の書き方のポイントを確認する。 4 空書きした後、縦画の筆使いに気をつけて、毛筆で「土」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「土・下・上」を鉛筆でなぞる。	【知】毛筆を使用して、縦画の書き方への理解を深めて書いている。 【思】毛筆で「土」を書写するなかで、縦画の書き方を確かめている。 【態】進んで(①)縦画の書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)縦画をもつ漢字を書こうとしている(④)。
	「おれ」〔教科書P20-21〕 ◎毛筆を使用して、折れの書き方への理解を深めて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	毛筆 2	1 P20上段の図と解説を見て、折れの筆使いについて理解する。 2 墨の付いていない筆で折れをなぞり、穂先がどこを通るかを考える。 3 P20下段の「たいせつ」を見て、折れの書き方のポイントを確認する。 4 空書きした後、折れの筆使いに気をつけて、毛筆で「日」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「日・古・画」を鉛筆でなぞる。 6 夏休み前に、P65「筆をあらおう」を参照しておく。	【知】毛筆を使用して、折れの書き方への理解を深めて書いている。 【思】毛筆で「日」を書写するなかで、折れの書き方を確かめている。 【態】進んで(①)折れの書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)折れをもつ漢字を書こうとしている(④)。

7月	小筆で書いてみよう 〔教科書P22-23〕 ◎小筆の使い方を理解して、正しい持ち方で書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ウ)〕	毛筆 1	1 P22の写真と解説を見て、小筆の持ち方や、鉛筆の持ち方との違いを理解する。 2 正しい持ち方に気をつけて、任意の線や点画、自分の名前などを小筆で書く。	【知】小筆の使い方を理解して、正しい持ち方で書こうとしている。 【思】〔小筆の正しい持ち方を確かめている。〕 【態】積極的に(①)小筆の使い方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)正しい持ち方で書こうとしている(④)。
	書写広げたい❶<国語> 〔教科書P24-25〕 ◎手紙の書き方を理解し、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕 ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせて文章の構成を考えることができる。〔B(1)イ・ウ・エ、(2)イ〕	硬筆 2	1 手紙文の形式、封筒への住所や宛名、差出人の書き方を理解する。 2 相手に気持ちを伝えるという役割を大切に、今までに学習した知識・技能を生かして手紙を書く。(または、P24-25の文例を視写する。)	【知】手紙の書き方を理解し、今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】〔案内の手紙を書く活動のなかで、手紙の書き方を確かめたり、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えたりしている。〕 【態】進んで(①)手紙の書き方を理解し(③)、今までの学習を生かしながら(②)案内の手紙を書こうとしている(④)。
9月	書写広げたい❷<国語> 〔教科書P26-27〕 ◎横書きの書き方に注意して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	適宜	1 横書きの2種類の書き方を知り、書きやすい方を選んで、「石の上にも三年」を鉛筆で書く。 2 数字の書き方を確かめ、鉛筆で書く。 3 ローマ字の書き方を確かめる。	【知】横書きの書き方に注意して書いている。 【思】〔横書きの例文を書くなかで、横書きの2種類の書き方を確かめている。〕 【態】積極的に(①)横書きの書き方や数字・ローマ字の書き方を確かめ(③)、学習課題に沿って(②)例文を書こうとしている(④)。
	力の入れ方〔教科書P28〕 ◎毛筆を使用して、筆圧に注意して書くことができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	毛筆 1	1 P28の写真を見て、筆圧と点の大きさ・線の太さの関係を理解する。 2 墨の付いていない筆でP28の線をなぞり、力の入れ方を確かめる。 3 筆に墨を付け、筆圧を変えて、いろいろな太さの横画を書く。	【知】毛筆を使用して、筆圧に注意して書いている。 【思】〔筆圧によって点の大きさや線の太さが変わることを確かめている。〕 【態】積極的に(①)筆圧に注意して(3)、学習課題に沿って(②)いろいろな太さの横画を書こうとしている(④)。
	「左はらい」「右はらい」 〔教科書P29-31〕 ◎毛筆を使用して、左払い・右払いの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	毛筆 2～3	1 墨の付いていない筆で左払いと右払いをなぞり、筆圧について考える。 2 P29-30下段の「たいせつ」を見て、左払いと右払いの書き方のポイントを確かめる。 3 空書きした後、左払いと右払いの筆使いに気をつけて、毛筆で「木」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、「木・矢・足」を鉛筆でなぞる。	【知】毛筆を使用して、左払い・右払いの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。 【思】〔毛筆で「木」を書写するなかで、書き方を確かめている。〕 【態】進んで(①)左払い・右払いの書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)左払い・右払いをもつ漢字を書こうとしている(④)。
10月	「点」「はね」 〔教科書P32-33〕 ◎毛筆を使用して、点・はねの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	毛筆 2	1 墨の付いていない筆で点とはねをなぞり、穂先がどこを通るかや筆圧について考える。 2 P32下段の「たいせつ」を見て、点・はねの書き方のポイントを確かめる。 3 空書きした後、点・はねの筆使いに気をつけて、毛筆で「小」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、「小・少・京」を鉛筆でなぞる。	【知】毛筆を使用して、点・はねの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。 【思】〔毛筆で「小」を書写するなかで、点・はねの書き方を確かめている。〕 【態】進んで(①)点・はねの書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)点・はねをもつ漢字を書こうとしている(④)。

	「曲がり」 〔教科書P34-35〕 ◎毛筆を使用して、曲がりの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	毛筆 2	1 墨の付いていない筆で曲がりをなぞり、穂先がどこを通るかを考える。 2 P34下段の「たいせつ」を見て、曲がりの書き方を確かめる。 3 空書きした後、曲がりの筆使いに気をつけて、毛筆で「元」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、「元・丸・光」を鉛筆でなぞる。	【知】毛筆を使用して、曲がりの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。 【思】毛筆で「元」を書写するなかで、曲がりの書き方を確かめている。 【態】進んで (①) 曲がりの書き方への理解を深め (③)、学習課題に沿って (②) 曲がりをもつ漢字を書こうとしている (④)。
11月	ことば 〔教科書P36-37〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	硬筆 1	1 ことわざを、声に出して読む。 2 これまでに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、ことわざを鉛筆でなぞる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】ことわざをなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能を確かめている。 【態】積極的に (①) 習得した知識・技能を振り返り (③)、今までの学習を生かしながら (②) 硬筆でことわざをなぞろうとしている (④)。
平がなの筆使い				
	平がな（丸み） 〔教科書P38-39〕 ◎毛筆を使用して、平仮名の筆使い（丸み）への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	毛筆 1～2	1 平仮名「つ」と漢字「五」の筆使いを比べ、違いを見つける。 2 P38下段の「たいせつ」を見て、平仮名の筆使いは、漢字に比べて丸みがあることを理解する。 3 平仮名の筆使い（丸み）に気をつけて、毛筆で「つり」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、「つり」「にじ」を鉛筆でなぞる。	【知】毛筆を使用して、平仮名の筆使い（丸み）への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。 【思】毛筆で「つり」を書写するなかで、平仮名の筆使い（丸み）を確かめている。 【態】進んで (①) 平仮名の筆使い（丸み）への理解を深め (③)、学習課題に沿って (②) 平仮名を書こうとしている (④)。
12月	漢字の組み立て			
	部分の組み立て方 〔教科書P40-41〕 ◎左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ・エ(ア)〕	硬筆 1～2	1 二つの「晴」を見比べ、左右の部分でできている漢字を整えて書くにはどうしたらよいかを考える。 2 P40下段の「たいせつ」を見て、左右の部分でできた漢字は、それぞれの部分の幅を狭くすると字形が整うことを理解する。 3 左右の部分の組み立て方に気をつけて、鉛筆でP41の漢字を書く。	【知】左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 【思】左右の部分でできている漢字を書くなかで、幅を狭くすると字形が整うことを確かめている。 【態】積極的に (①) 左右の部分の組み立て方を理解し (③)、学習課題に沿って (②) 左右の部分でできている漢字を書こうとしている (④)。
文字の配列				
	行の中心 〔教科書P42〕 ◎配列（行の中心）に注意して読みやすく書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	硬筆 1	1 二つの「図工室」を見比べ、読みやすい方を選び、言葉や文を読みやすく書くにはどうしたらよいかを考える。 2 P42下段の「たいせつ」を見て、文字の中心をそろえると、行が整って読みやすくなることを理解する。 3 文字の中心を見つける目安を確かめる。 4 行の中心に気をつけて、「立冬」「東西」を鉛筆でなぞる。	【知】配列（行の中心）に注意して読みやすく書いている。 【思】硬筆で「立冬」「東西」をなぞるなかで、文字の中心を見つける目安を確かめている。 【態】進んで (①) 配列（行の中心）に注意し (③)、学習課題に沿って (②) 言葉をなぞろうとしている (④)。
	できているかな 〔教科書P43〕 ◎筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	適宜	1 P43の各項目ができているかチェックし、鉛筆の正しい持ち方を確認する。 2 鉛筆の正しい持ち方で、任意の文字を書く。	【知】筆記具の持ち方を正しくして書いている。 【思】自分の筆記具の持ち方を確かめている。 【態】積極的に (①) 自分の筆記具の持ち方を確かめ (③)、今までの学習を生かして (②) 筆記具の持ち方を正しくして任意の文字を書こうとしている (④)。
1月	まとめ			

2月 3月	書きぞめ [教科書P44-47・P61-64] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	毛筆 3～5 ／ 硬筆 0～1	1 書き初めとは何かについて、確かめる。 2 今までに学習した知識・技能の生かし方を考えて、毛筆で「正月」や「友だち」を書く。 3 今までに学習した知識・技能の生かし方を考えて、鉛筆で文章を書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書こうとしている(④)。
	三年生のまとめ①② [教科書P48-51] ◎第3学年で学習したことを振り返り、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	毛筆 3	1 P48-49の『『たいせつ』のまとめ』を見て、今までに学習した知識・技能を振り返り、「水玉」を書くときに生かせることを話し合っ、自分のめあてを書く。 2 めあてに気をつけて、毛筆で「水玉」を書く。 3 P58-60「三年生で学習する漢字」などから、 2 で決めためあてに沿った文字を選んで、鉛筆で書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 毛筆で「水玉」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分で決めためあてに沿った文字を書こうとしている(④)。
	【もっと知りたい】 全国筆・紙・すみ・すずりマップ [教科書P52-53] ◎全国で作られている筆・紙・墨・硯を知り、毛筆用具や書写学習への関心を高めることができる。[知技(3)エ(ウ)]	毛筆 1	1 P52-53の地図を見て、全国で作られている筆・紙・墨・硯について知る。 2 P53下段の写真を見て、筆・紙・墨・硯の作り方を知る。 3 理解したことや感じたことを友達と交流し、毛筆用具や書写学習への関心を高める。	【知】 全国で作られる毛筆用具や、その作り方を理解している。 【態】 進んで(①)全国で作られる毛筆用具やその作り方を理解し(③)、今までの学習を生かして(③)理解したことや感じたことを交流しようとしている(④)。
適宜	しりょう			
	平がな／かたかな [教科書P54-55] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)エ(ア)]	適宜	1 平仮名・片仮名の筆使い、筆順、外形などを適宜確かめる。	【知】 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】 進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけて(③)、今までの学習を生かしながら(②)書こうとしている(④)。
	一・二年生で学習した漢字 [教科書P56-57] ◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]		1 第1学年及び第2学年で学習した漢字について、点画の書き方、文字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】 点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】 積極的に(①)点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
	三年生で学習する漢字 [教科書P58-60] ◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]		1 第3学年で学習する漢字について、点画の書き方、文字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】 点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】 積極的に(①)点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
	筆をあらおう [教科書P65] ◎筆の洗いや乾かし方を理解することができる。[知技(3)エ(ウ)]		1 筆の洗いや乾かし方を理解し、丁寧に筆を洗う。	【知】 筆の洗いや乾かし方を理解している。 【思】 筆の洗いや乾かし方を確かめている。 【態】 積極的に(①)筆の洗いや乾かし方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)適切に扱おうとしている(④)。

4月	学習の進め方 [教科書 巻頭] ◎学習の進め方を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	適宜	1表2-P1上段を見て、学習の進め方を理解する。 2下段を見て、1年間の学習内容を知る。	【態】積極的に (①) 学習の進め方を理解し (③)、学習の見通しをもって (②) 書写学習に取り組もうとしている (④)。
	いつも気をつけよう			
	用具のじゅんぴ／用具のかたづけ [教科書P2] ◎毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	適宜	1P2を見て、用具の準備のしかたと片づけ方を確かめる。 2以後の学習において、適宜確かめる。	【知】毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解している。 【思】毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を確かめている。 【態】積極的に (①) 毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解し (③)、学習の見通しをもって (②) 適切に扱おうとしている (④)。
	書くときのしせい [教科書P3] ◎書くときの姿勢を正しくすることができる。[知技(3)エ(ウ)]		1P3の写真や唱歌「足はべったん…」を見て、毛筆で書くときの姿勢を確かめる。 2以後の学習において、適宜確かめる。	【知】書くときの姿勢を正しくしている。 【思】書くときの正しい姿勢を確かめている。 【態】進んで (①) 書くときの姿勢を確かめ (③)、学習課題に沿って (②) 姿勢を正しくしようとしている (④)。
	筆の持ち方／タブレットを活用しよう [教科書P4-5] ◎筆の持ち方を正しくし、タブレット端末を活用することができる。[知技(3)エ(ウ)]		1P4の写真と解説を見て、筆の持ち方を確かめる。 2P5を見て、タブレット端末の活用のしかたや、タブレット端末を使う際の正しい姿勢を知る。 3以後の学習において、適宜確かめる。	【知】筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。 【思】筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめている。 【態】進んで (①) 筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめ (③)、学習課題に沿って (②) 筆の持ち方を正しくしたり、タブレット端末を活用しようとしていたりしている (④)。
	点画の種類 [教科書P6-7] ◎点画の種類を確かめ、点画の書き方や筆圧などに注意して書くことができる。[知技(3)エ(ウ)]	毛筆 1	1それぞれの点画の名称と筆使いを確かめ、空書きやなぞり書きをする。 2穂先の向きと筆圧に気をつけて、それぞれの点画を毛筆で書く。	【知】点画の種類を確かめ、点画の書き方や筆圧などに注意して書いている。 【思】点画を書くなかで、穂先の向きと筆圧などを確かめている。 【態】進んで (①) 点画の書き方や筆圧などを確かめ (③)、学習課題に沿って (②) 点画を書こうとしている (④)。
	漢字の組み立て			
5月	部分の組み立て方 (左右) [教科書P8-9] ◎左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ・エ(ア)・(ウ)]	毛筆 3	1「木」と「きへん」の違いを、友達どうしやグループで話し合い、P8上段に書き込む。 2P8下段の「たいせつ」を見て、左右の部分の組み立て方のポイントを理解する。 3「林」の部分 (へんとつくり) の外形をなぞり、組み立て方を確かめる。 4左右の部分の組み立て方に気をつけて、毛筆で「林」を書く。 5毛筆の学習を生かして、「林・畑・土地」を鉛筆でなぞる。	【知】左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 【思】毛筆で「林」を書写するなかで、左右の部分の組み立て方を確かめている。 【態】積極的に (①) 左右の部分の組み立て方を理解し (③)、学習課題に沿って (②) 左右の部分でできている漢字を書こうとしている (④)。

	部分の組み立て方（上下） [教科書P10-11] ◎上下の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ・エ(ア)・(ウ)]	毛筆 3	1 「雨」と「あめかんむり」の違いを、友達どうしやグループで話し合い、P10上段に書き込む。 2 P10下段の「たいせつ」を見て、上下の部分の組み立て方のポイントを理解する。 3 「雲」の部分（上下）の外形をなぞり、組み立て方を確かめる。 4 上下の部分の組み立て方に気をつけて、毛筆で「雲」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「雨雲・竹笛」を鉛筆でなぞる。	【知】 上下の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 【思】 毛筆で「雲」を書写するなかで、上下の部分の組み立て方を確かめている。 【態】 積極的に（①）上下の部分の組み立て方を理解し（③）、学習課題に沿って（②）上下の部分でできている漢字を書こうとしている（④）。
6月	字の形			
	筆順と字形 [教科書P12-13] ◎筆順と字形の関係を理解して、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	毛筆 3～4	1 「左・右」それぞれの横画と左払いを指でなぞり、筆順と字形の関係について友達どうしやグループで話し合い、P12上段に書き込む。 2 P12下段の「たいせつ」を見て、横画と左払いが交わる際のポイントを理解する。 3 「左・右」の筆順と字形の関係を確かめる。 4 筆順と字形の关系到気をつけて、毛筆で「左右」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「左・右・有」を鉛筆でなぞる。	【知】 筆順と字形の関係を理解して、形を整えて書いている。 【思】 毛筆で「左右」を書写するなかで、横画と左払いが交わる時のルールを確かめている。 【態】 進んで（①）筆順と字形の関係を理解し（③）、学習課題に沿って（②）横画と左払いが交わる漢字を書こうとしている（④）。
7月	画の方向 [教科書P14-15] ◎画（左払い）の方向を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	毛筆 3～4	1 「夏・友」を見て、二つ並んだ左払いの方向の違いを友達どうしやグループで話し合い、P14上段に書き込む。 2 P14下段の「たいせつ」を見て、二つ並んだ左払いをもつ漢字を書くときのポイントを理解する。 3 左払いの方向に気をつけて、毛筆で「麦」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、「麦・夏・友」を鉛筆でなぞる。	【知】 画（左払い）の方向を理解し、形を整えて書いている。 【思】 毛筆で「麦」を書写するなかで、二つ並んだ左払いの方向の違いを確かめている。 【態】 積極的に（①）画の方向を理解し（③）、学習課題に沿って（②）二つ並んだ左払いをもつ漢字を書こうとしている（④）。
9月	平がなの筆使い			
	平がな（折れ） [教科書P16-17] ◎毛筆を使用して、平仮名の筆使い（折れ）への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。[知技(3)エ(ア)・(ウ)]	毛筆 3	1 二つの「ん」を見比べ、どちらが整って見えるか、理由も合わせて考える。 2 1で考えたことを友達どうしやグループで話し合い、P16上段に書き込む。 3 P16下段の「たいせつ」を見て、平仮名の折れの書き方のポイントを理解する。 4 「らん」の折れの書き方を確かめ、筆使いに気をつけて毛筆で書く。 5 毛筆の学習を生かして、「らん・みね」を鉛筆でなぞる。	【知】 毛筆を使用して、平仮名の筆使い（折れ）への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。 【思】 毛筆で「らん」を書写するなかで、平仮名の筆使い（折れ）を確かめている。 【態】 進んで（①）平仮名の筆使い（折れ）への理解を深め（③）、学習課題に沿って（②）折れをもつ平仮名を書こうとしている（④）。
10月	文字の配列			

	ノートの達人になろう 〔教科書P18-19〕 ◎漢字や仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）に注意して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕 ○ノートに読みやすく書くことができる。〔B(1)イ・ウ〕	硬筆 2	1 P18のノート例を見て、読みやすく書くためにどのような工夫をしているかを考え、話し合う。 2 P19「ポイント1」について、㊦㊧のどちらが読みやすいかを、その理由とともに考える。 3 P19下段右の「たいせつ」を見て、漢字を大きめに、平仮名を小さめに書くと読みやすくなることを理解する。 4 P19「ポイント2」について、㊦㊧のどちらが読みやすいかを、その理由とともに考える。 5 P19下段左の「たいせつ」を見て、行の中心をそろえ、字間を同じくらい空けて書くと読みやすくなることを理解する。 6 漢字と仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）に気をつけて、ノートに文章を書く。 7 自分の国語のノートを見て、配列に気をつけて書いているかを確かめる。	【知】漢字や仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）に注意して書いている。 【思】硬筆で文章を書くなかで、漢字や仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）を確かめている。 【態】進んで（①）漢字や仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）に注意し（③）、学習課題に沿って（②）ノートを読みやすく書こうとしている（④）。
	書写広げたい㊦<理科> 〔教科書P20〕 ◎漢字や仮名の大きさ、配列（横書き）に注意して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕 ○ノートに読みやすく書くことができる。〔B(1)イ・ウ〕	適宜	1 P20のノート例を見て、横書きで文や文章を読みやすく書くためのポイントを確かめる。 2 自分の横書きのノートを見て、配列に気をつけて書いているかを確かめる。 3 学習したことを生かして、ノートに横書きで書く。	【知】漢字や仮名の大きさ、配列（横書き）に注意して書いている。 【思】横書きのノートを書く活動のなかで、漢字や仮名の大きさ、配列（横書き）を確かめている。 【態】進んで（①）漢字や仮名の大きさ、配列（横書き）に注意し（③）、学習課題に沿って（②）横書きのノートを読みやすく書こうとしている（④）。
	みんなで考えよう SDGsブック 〔教科書P21-24〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	適宜	1 SDGsについて、P21の二次元コードを読み取って動画を閲覧するなどして理解を深める。 2 P22-23の例を見て、書写学習のなかで可能なSDGsにつながる取り組みを知り、自分たちには何ができるかを考え、話し合う。 3 これまでに学習した知識・技能の生かし方を考えて、SDGsに関する発表用のポスターを作成する。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】発表用のポスターを作成する活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に（①）習得した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かして（②）発表用のポスターを作成しようとしている（④）。
	ことば〔教科書P25〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	硬筆 1	1 五・七・五のリズムを感じ取りながら、P25の俳句を声に出して読む。 2 これまでに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、俳句を鉛筆でなぞる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】俳句をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に（①）習得した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かして（②）俳句をなぞろうとしている（④）。

11月	漢字どうしの大きさ 〔教科書P26-27〕 ◎漢字どうしの大きさに注意して書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(イ)・(ウ)〕	毛筆 3～4	1 二つの「白神山地」を比べて、漢字を並べて書くときの文字の大きさについて考え、話し合う。 2 P26下段の「たいせつ」を見て、漢字を並べて書くときは、画数の少ない漢字を小さめに書くと読みやすくなることを理解する。 3 「白馬」の外形をなぞって、文字の大きさを確かめる。 4 漢字どうしの大きさに気をつけて、毛筆で「白馬」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「白馬・山地・日進月歩」を鉛筆でなぞる。	【知】漢字どうしの大きさに注意して書いている。 【思】毛筆で「白馬」を書写するなかで、漢字どうしの大きさを確かめている。 【態】進んで（①）漢字どうしの大きさに注意し（③）、学習課題に沿って（②）言葉を書こうとしている（④）。
-----	---	-----------	--	--

12月	書写広げたい㊟〈国語〉 〔教科書P28-29〕 ◎漢字や仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）に注意して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕 ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。〔B(1)イ・ウ・エ、(2)ア〕	硬筆 2	1 P28-29の例を見て、「読みやすさ」という観点から漢字と仮名の大きさや配列（行の中心や字間）について確かめる。 2 リーフレットで伝えたいことを考え、調べたことを整理し、文章を考える。 3 文字の大きさや配列（行の中心や字間）を工夫して、リーフレットを完成させる。	【知】漢字や仮名の大きさ、配列（行の中心や字間）に注意して書いている。 【思】リーフレットを書く活動のなかで、漢字や仮名の大きさ、配列（行の中心や字間）について学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで（①）漢字や仮名の大きさ、配列（行の中心や字間）について工夫し（③）、学習課題に沿って（②）読みやすいリーフレットを書こうとしている（④）。
	【やってみよう】町の安全を伝えよう〔教科書P30-31〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕 ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついて、調べたことをわかりやすくまとめることができる。〔B(1)イ・ウ・エ、(2)ア〕	適宜	1 P30-31の例を見て、見る人にわかりやすく伝えるための工夫を確かめる。 2 自分の町の危険な場所や防災施設などについて調べて整理し、防災マップの内容を考える。 3 これまでに学習した知識・技能の生かし方を考えて、大切なことをわかりやすく伝えるための工夫をし、防災マップを完成させる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】防災マップを書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで（①）習得した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かして（②）防災マップを書こうとしている（④）。
1月 2月 3月	まとめ 書きぞめ 〔教科書P32-35・P49-52〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	毛筆 3～5 ／ 硬筆 0～1	1 書き初めとは何かについて、確かめる。 2 今までに学習した知識・技能の生かし方を考えて、毛筆で「出発」や「明るい心」を書く。 3 今までに学習した知識・技能の生かし方を考えて、鉛筆で和歌を書く。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に（①）習得した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かして（②）書き初めを書こうとしている（④）。
	四年生のまとめ㊟㊟ 〔教科書P36-39〕 ◎第4学年で学習したことを振り返り、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	毛筆 3	1 P36-37の『『たいせつ』のまとめ』を見て、今までに学習した知識・技能を振り返り、「大地」を書くときに生かせることを話し合っ、自分のめあてを書く。 2 めあてに気をつけて、毛筆で「大地」を書く。 3 P46-48「四年生で学習する漢字」などから、2で決めためあてに沿った文字を選んで、鉛筆で書く。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】毛筆で「大地」を书写するなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで（①）習得した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かして（②）自分で決めためあてに沿った文字を書こうとしている（④）。
適宜	しりょう			

手紙の書き方／はがきの表書き／げんこう用紙の使い方 [教科書P40-41] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)] ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせて文章の構成を考えることができる。[B(1)イ・ウ・エ、(2)イ]	適宜	1 手紙の構成や慣用的に用いる言葉など、手紙文の書き方を理解する。 2 便箋、封筒、はがきの表、原稿用紙それぞれの書式や文字の大きさや配列など、今までに学習してきた知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて書く。(または、P40-41の例を視写する。)	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】(便箋、封筒、はがきの表、原稿用紙などに書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) 【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)便箋、封筒、はがきの表、原稿用紙などに書こうとしている(④)。
平がな／かたかな／ローマ字 [教科書P42-43] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)エ(ア)]		1 平仮名・片仮名の筆使い、筆順、外形などを確かめる。 2 ローマ字の書き方を確かめる。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけて(③)、今までの学習を生かしながら(②)書こうとしている(④)。
三年生で学習した漢字 [教科書P44-45] ◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)]		1 第3学年で学習した漢字について、点画の書き方、文字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
四年生で学習する漢字 [教科書P46-48] ◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]		1 第4学年で学習する漢字について、点画の書き方、文字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
身近な文字をさがそう [教科書P53] ◎町にある身近な文字に興味をもつことができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)]		1 P53の写真を参考にして、自分の町にはどのような文字があるかを考える。 2 実際に町にある文字を探して、特徴や印象に残っていることを発表し合う。	【態】積極的に(①)身の回りの文字を探し(③)、学習の見通しをもって(②)見つけた文字について発表しようとしている(④)。

年間指導計画 5年

江戸川区立本一色小学校

4月	学習の進め方 [教科書 巻頭] ◎学習の進め方を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	適宜	1表2-P1上段を見て、学習の進め方を理解する。 2下段を見て、1年間の学習内容を知る。 3「五年生のめあて」を確かめる。	【態】 積極的に (①) 学習の進め方を理解し (③)、学習の見通しをもって (②) 書写学習に取り組もうとしている (④)。
	いつも気をつけよう			
	用具の準備／用具のかたづけ [教科書P2] ◎毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解することができる。[知技(3)エ(イ)]	適宜	1P2を見て、用具の準備のしかたと片づけ方を確かめる。 2以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解している。 【思】 毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を確かめている。 【態】 積極的に (①) 毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解し (③)、学習課題に沿って (②) 適切に扱おうとしている (④)。
	書くときのしせい [教科書P3] ◎書くときの姿勢を正しくすることができる。[知技(3)エ(イ)]		1P3の写真や唱え歌「足はべったん…」を見て、毛筆で書くときの姿勢を確かめる。 2以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 書くときの姿勢を正しくしている。 【思】 書くときの正しい姿勢を確かめている。 【態】 進んで (①) 書くときの姿勢を確かめ (③)、学習課題に沿って (②) 姿勢を正しくしようとしている (④)。
	筆の持ち方／タブレットを活用しよう [教科書P4-5] ◎筆の持ち方を正しくし、タブレット端末を活用することができる。[知技(3)エ(イ)]		1P4の写真と解説を見て、筆の持ち方を確かめる。 2P5を見て、タブレット端末の活用のしかたや、タブレット端末を使う際の正しい姿勢を知る。 3以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。 【思】 筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめている。 【態】 進んで (①) 筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめ (③)、学習課題に沿って (②) 筆の持ち方を正しくしようしたり、タブレット端末を活用しようとしていたりしている (④)。
漢字の組み立て				
5月	部分の組み立て方① (によう) [教科書P6-7] ◎「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(イ)]	毛筆 4	1二つの「道」を比べて、どちらの字形が整って見えるか考え、その理由を友達どうしやグループで話し合う。 2P6下段の「たいせつ」を見て、「によう」をもつ漢字の組み立て方のポイントを理解する。 3「道」の部分 (「しんによう」と首) の外形をなぞり、組み立て方を確かめる。 4「しんによう」の形や部分の組み立て方に気をつけて、毛筆で「道」を書く。 5毛筆の学習を生かして、「道・速・友達」を鉛筆でなぞる。	【知】 「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 【思】 毛筆で「道」を書写するなかで、「によう」をもつ漢字の組み立て方を確かめている。 【態】 進んで (①) 「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し (③)、学習課題に沿って (②) 「によう」をもつ漢字を書こうとしている (④)。
	部分の組み立て方② [教科書P8] ◎漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(イ)]	硬筆 1	1これまでに学習した漢字の部分の組み立て方に気をつけて、鉛筆で漢字を書く。 2P40-41「四年生で学習した漢字」から、部分の組み立て方が同じ漢字を選び、部分どうしの位置や大きさの関係を意識して鉛筆で書く。	【知】 漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書いている。 【思】 硬筆で漢字を書くなかで、漢字の部分の組み立て方を確かめている。 【態】 積極的に (①) 漢字の部分の組み立て方に注意して (③)、今までの学習を生かしながら (②) 漢字を書こうとしている (④)。

	【もっと知りたい】漢字のいろいろな書き方〔教科書P9〕 ◎速く書く場面で使ってもよい書き方を理解することができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)〕	適宜	1 速く書く必要がある場面では、点画の形や方向、接し方などを変えて書いてもよいことを理解し、その書き方を知る。 2 P9に例示されている漢字を書く。 3 P10-11の学習活動に合わせて適宜確認する。	【知】速く書く場面で使ってもよい書き方を理解している。 【思】〔例示された文字を書くなかで、速く書く場面で使ってもよい書き方を確かめている。〕 【態】進んで(①)速く書く場面で使ってもよい書き方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)速く書く場合の書き方で書こうとしている(④)。
6月	書くときの速さ			
	書くときの速さ〔教科書P10〕 ◎場面と書く速さの関係を理解し、書く速さを意識して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)〕	硬筆 1	1 P10の4つの場面では、それぞれどのような速さで書くときかを考え、理由も合わせて友達どうしやグループで話し合う。 2 P10下段の「たいせつ」を見て、文字を書く速さは場面によって変わることを理解する。 3 学校生活のどの場面で、どのような速さで書くのがよいかを考え、友達どうしやグループで話し合うとともに、実際に速さを意識して書いてみる。	【知】場面と書く速さの関係を理解し、書く速さを意識して書いている。 【思】〔文字を書くときには、場面にふさわしい速さがあることを確かめている。〕 【態】積極的に(①)場面と書く速さの関係を理解し(③)、学習課題に沿って(②)速さを意識して書こうとしている(④)。
	書写広げたい①〈国語〉〔教科書P11〕 ◎速く正確に書き留めるための方法を理解し、書く速さを意識して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)〕 ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。〔A(1)ア、(2)イ〕	硬筆 1	1 インタビューメモを書くときは、どのような速さで書くのがよいかを考え、話し合う。 2 速く正確に書き留めるための方法を確認する。必要に応じてP9を参照する。 3 実際にインタビューをして、相手の話の要点を書き留める。(または、P11のインタビュー例を用いて、要点を書き留めてみる。) 4 速さを意識して、話の要点を書き留めることができたかを話し合う。	【知】速く正確に書き留めるための方法を理解し、書く速さを意識して書いている。 【思】〔インタビューメモを書く活動のなかで、すばやく書き留めるための方法を確認している。〕 【態】積極的に(①)速く正確に書き留めるための方法を理解し(③)、学習課題に沿って(②)速さを意識してインタビューメモを書こうとしている(④)。
	手書きの力〔教科書P12〕 ◎手書き文字のもつ力やよさについて理解することができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ウ)〕	硬筆 1	1 P12の手書きの壁新聞を見て、受けた印象や手書き文字のもつ力・よさについて話し合う。 【学習活動の応用例】 ○手書きで書かれたプリントやチラシを集め、活字のものとの違いやそのよさについて話し合う。	【知】手書き文字のもつ力やよさについて理解している。 【思】〔手書き文字のもつ力やよさについて考えている。〕 【態】進んで(①)手書き文字に興味をもち(③)、学習課題に沿って(②)壁新聞から受けた印象について話し合おうとしている(④)。
	【もっと知りたい】手書き文字と活字〔教科書P13〕 ◎手書き文字と活字の違いを理解することができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ウ)〕		1 3種類の「令」の違いについて、字形や読みやすさ、受ける印象などの観点から、友達どうしやグループで話し合う。 2 手書き文字と活字の違いを理解する。 3 P13の「地いきゆかりの活字」を見て、それぞれの活字の由来やデザインの特徴を知り、活字への興味を高める。	【知】手書き文字と活字の違いを理解している。 【思】〔手書き文字と活字の違いを確かめている。〕 【態】積極的に(①)手書き文字と活字の違いを考え(③)、学習課題に沿って(②)手書き文字と活字の違いや、地域ゆかりの活字について話し合おうとしている(④)。

7月	字の形			
	点画のつながりと字形 [教科書P14-15] ◎点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができる。[知技(3)エ(イ)]	毛筆 3～4	1 P14上段の「こい」を指でなぞり、点画のつながりと字形の関係について考え、友達どうしやグループで話し合う。 2 P14下段の「たいせつ」を見て、穂先を次の画の始筆につなぐ気持ちで書くと、字形が整うことを理解する。 3 墨の付いていない筆で穂先の動きをなぞり、「ふるさと」を書くときの点画のつながりを確かめる。 4 穂先の動きと点画のつながりを意識して、毛筆で「ふるさと」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「ふるさと・うぐいす」を鉛筆でなぞる。	【知】点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。 【思】穂先の動きと点画のつながりを意識して「ふるさと」を毛筆で書写するなかで、点画のつながりと字形の関係を確かめている。 【態】積極的に(①)穂先の動きと点画のつながりを意識し(③)、学習課題に沿って(②)平仮名の言葉を書こうとしている(④)。
9月	筆順と字形 [教科書P16-17] ◎筆順と字形の関係を理解して書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(イ)]	毛筆 3～4	1 P16上段の「原」と「皮」を見て、筆順と画の始筆の付き方との関係について考え、友達どうしやグループで話し合う。 2 P16下段の「たいせつ」を見て、画の始筆どうしが付くときは、先に書いた画が出ることを理解する。 3 「成長」の筆順と画の始筆の付き方との関係を確かめる。 4 筆順と画の付き方との関係に気をつけて、毛筆で「成長」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「成長・野原」を鉛筆でなぞる。	【知】筆順と字形の関係を理解して書いている。 【思】毛筆で「成長」を書写するなかで、画の始筆の付き方を確かめている。 【態】進んで(①)筆順と字形の関係を考え(③)、学習課題に沿って(②)画の始筆どうしが付く漢字を書こうとしている(④)。
10月	ことば [教科書P18-19] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)]	硬筆 1	1 言葉の響きやリズムを楽しみながら、「竹取物語」を声に出して読む。 2 今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、「竹取物語」を鉛筆でなぞる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】「竹取物語」をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)、「竹取物語」をなぞろうとしている(④)。
文字の配列				
	11月 文字の大きさ(漢字と仮名)	[教科書P20-21] ◎漢字と仮名の大きさに注意して書くことができる。 [知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)] 毛筆 3	1 P20の△と○の例を見て、文字(漢字と仮名)の大きさと読みやすさの関係について、友達どうしやグループで話し合う。 2 P20下段の「たいせつ」を見て、漢字を大きめに、平仮名は小さめに書くと、読みやすくなることを理解する。 3 「読む」の外形をなぞり、漢字と仮名の大きさのバランスを確かめる。 4 漢字と仮名の大きさに気をつけて、毛筆で「読む」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「読む・聞く」を鉛筆でなぞる。	【知】漢字や仮名の大きさに注意して書いている。 【思】毛筆で「読む」を書写するなかで、漢字や仮名の大きさを確かめている。 【態】進んで(①)漢字や仮名の大きさに注意し(③)、学習課題に沿って(②)毛筆と硬筆で「読む」を書こうとしている(④)。

11月	用紙に合った文字の大きさ [教科書P22-23] ◎用紙全体の大きさと文字数を考え、文字の大きさと配列を決めて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)]	毛筆 4	1 P22の㊦～㊧のうち、バランスよく見えるものを選び、選んだ理由を友だちどうしやグループで話し合う。 2 P22下段の「たいせつ」を見て、用紙全体の大きさと文字数を考えて、書く前に文字の大きさと配置を決めると読みやすく書けることを理解する。 3 用紙(半紙)に合った文字の大きさや配置を考えて、毛筆で「飛行」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、「飛行・白雲」を鉛筆でなぞる。 5 「飛行」や「白雲」を、いろいろな大きさの紙にバランスよく見えるように書く。	【知】用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。 【思】毛筆で半紙に「飛行」を書写するなかで、半紙に対する文字の大きさや配置を工夫している。 【態】進んで(①)文字の大きさや配置について考え(③)、学習課題に沿って(②)いろいろな大きさの用紙にバランスよく書こうとしている(④)。
12月	めざせ！ 新聞記者 [教科書P24-25] ◎漢字や仮名の大きさ、配列に注意するとともに、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(2)イ、(3)エ(ア)・(ウ)] ○事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。[B(1)ウ・オ、(2)ア・ウ]	硬筆 2 ／ 毛筆 0～1	1 P24の新聞の例を見て、読みやすくするためにどのような工夫をしているか、友達どうしやグループで話し合う。 2 P25のポイント①②を見て、新聞などを読みやすく書くための配列のポイントを理解する。 3 P24の新聞の例ではどのような筆記具が使われているか、P25の「筆記具の選たく」を参考に考える。 4 P25下段の「たいせつ」を見て、新聞などを読みやすく書くための文字の配列や筆記具の使い分けのポイントを確かめる。 5 学習したことを生かして、新聞などを制作する。	【知】漢字や仮名の大きさ、配列に注意するとともに、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書いている。 【思】新聞などを制作する活動のなかで、漢字や仮名の大きさ、配列、筆記具の使い分けなど、学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に(①)漢字や仮名の大きさ、配列、筆記具の使い分けなどを工夫して(③)、学習課題に沿って(②)新聞などを読みやすく書こうとしている(④)。
1月	まとめ			
2月 3月	書きぞめ [教科書P26-29・P45-48] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	硬筆 0～1 ／ 毛筆 5～6	1 書き初めとは何かについて、確かめる。 2 今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、毛筆で「希望」や「新しい風」を書く。 3 今までに学習した知識・技能の生かし方を考えて、硬筆で文章を書く。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書こうとしている(④)。
	五年生のまとめ①② [教科書P30-33] ◎第5学年で学習したことを振り返り、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	毛筆 3	1 P30-31の『「たいせつ」のまとめ』を見て、今までに学習した知識・技能を振り返り、「近づく春」を書くときに生かせることを考え、P32下段の「書写の言葉」を使って自分のめあてを書く。 2 めあてに気をつけて、毛筆で「近づく春」を書く。 3 P42-44「五年生で学習する漢字」などから、2で決めためあてに沿った文字を選んで、硬筆で書く。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】毛筆で「近づく春」を書写するなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分で決めためあてに沿った文字を書こうとしている(④)。
	六年生を送る会に向けて [教科書P34] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)] ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。[B(1)オ、(2)ウ]	硬筆 1～2 ／ 毛筆 0～1	1 これまでにお世話になった六年生に感謝の気持ちを伝えるという目的を確認し、送る会に用意するものを考え、話し合う。 2 筆記具や用紙を決める。 3 文字の大きさや配列など、今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、プログラムや寄せ書き、メッセージカードなどを書く。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】プログラムや寄せ書きなどを書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)プログラムや寄せ書きなどを書こうとしている(④)。

	書写広げたい㊟〈英語〉 〔教科書P35〕 ㊟アルファベットの大きさや配列に注意して書くことができる。〔知技(3)エ(ア)・(ウ)〕	適宜	1 P35の例を参考に、「My Hero カード」の書き方を理解し、内容を考える。 2 アルファベット（大文字・小文字）の大きさ・高さと位置などを確かめる。 3 配列に気をつけて、英語で「My Hero カード」を書く。	【知】アルファベットの大きさや配列に注意して書いている。 【思】「My Hero カード」を作る活動のなかで、今までに学習したことのかし方を考えている。 【態】進んで（①）アルファベットの大きさや配列に注意し（③）、学習課題に沿って（②）「My Hero カード」を書こうとしている（④）。
適宜	資料			
	手紙の書き方／都道府県漢字 〔教科書P36-37〕 ㊟今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。〔B(1)ウ・オ〕	適宜	1 P36を見て、便箋、封筒の書式を確認し、文字の大きさや配列など、今までに学習した知識・技能を振り返る。 2 P37を見て、都道府県名に用いられる漢字の書き方を確かめる。 3 1、2で確認したことのかし方を考えて手紙を書く。（または、P36の例を視写する。）	【知】今までに学習した知識を生かして書いている。 【思】便箋、封筒、都道府県漢字などを書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能のかし方を考えている。 【態】進んで（①）習得した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かして（②）便箋、封筒、都道府県漢字などを書こうとしている（④）。
	こんなことはないかな 〔教科書P38〕 ㊟平仮名の筆使いと文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(3)ウ、(3)エ(ア)・(イ)〕		1 平仮名には、元になった漢字があることを知る。 2 P38の「わ・ち・ゆ・れ」について、それぞれの字源を意識して平仮名を書く。 3 1、2で学習したことのかし方を考えて、自分の名前を平仮名で書く。（それぞれの平仮名の字源については、適宜、P38の二次元コードを読み取って資料を確認する。）	【知】平仮名の筆使いと文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】自分の名前を平仮名で書く活動のなかで、筆使い、文字の形、筆順などを確かめている。 【態】進んで（①）筆使い、文字の形、筆順などに気をつけて（③）、学習課題に沿って（②）自分の名前を平仮名で書こうとしている（④）。
	平仮名／片仮名／ローマ字 〔教科書P39〕 ㊟点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)エ(ア)〕		1 平仮名・片仮名の筆使い、筆順、外形などを確かめる。 2 ローマ字の書き方を確かめる。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】進んで（①）点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけて（③）、今までの学習を生かしながら（②）書こうとしている（④）。
	四年生で学習した漢字 〔教科書P40-41〕 ㊟点画の書き方や漢字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)〕		1 第4学年で学習した漢字について、点画の書き方、文字の形、漢字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や漢字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】積極的に（①）点画の書き方や漢字の組み立て方、筆順などを確かめ（③）、今までの学習を生かしながら（②）字形を整えて書こうとしている（④）。
	五年生で学習する漢字 〔教科書P42-44〕 ㊟点画の書き方や漢字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)〕		1 第5学年で学習する漢字について、点画の書き方、文字の形、漢字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や漢字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】積極的に（①）点画の書き方や漢字の組み立て方、筆順などを確かめ（③）、今までの学習を生かしながら（②）字形を整えて書こうとしている（④）。
	身近な文字をさがそう 〔教科書P49〕 ㊟町にある身近な文字への関心を高めることができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)〕		1 P49の写真を参考に、自分の町でどのような文字を見たことがあるか、友達どうしやグループで話し合う。 2 実際に町で文字を探す活動を行い、特徴や印象に残っていること、日本語以外の文字についてなど、気づいたことを発表し合う。	【態】積極的に（①）身近な文字を探し（③）、学習の見通しをもって（②）見つけた文字や気づいたことについて発表しようとしている（④）。

4月 5月	学習の進め方 [教科書 巻頭] ◎学習の進め方を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	適宜	1表2-P1上段を見て、学習の進め方を理解する。 2下段を見て、1年間の学習内容を知る。 3「六年生のめあて」を確かめる。	【態】 積極的に(①)学習の進め方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)書写学習に取り組もうとしている(④)。
いつも気をつけよう				
	用具の準備／用具の片づけ [教科書P2] ◎毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解することができる。[知技(3)エ(イ)]	適宜	1P2を見て、用具の準備のしかたと片づけ方を確かめる。 2以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解している。 【思】 毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を確かめている。 【態】 積極的に(①)毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)適切に扱おうとしている(④)。
	書くときの姿勢 [教科書P3] ◎書くときの姿勢を正しくすることができる。[知技(3)エ(イ)]		1P3の写真や唱え歌「足はぺったん…」を見て、毛筆で書くときの姿勢を確かめる。 2以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 書くときの姿勢を正しくしている。 【思】 書くときの正しい姿勢を確かめている。 【態】 進んで(①)書くときの姿勢を確かめ(③)、学習課題に沿って(②)姿勢を正しくしようとしている(④)。
	筆の持ち方／タブレットを活用しよう [教科書P4-5] ◎筆の持ち方を正しくし、タブレット端末を活用することができる。[知技(3)エ(イ)]		1P4の写真と解説を見て、筆の持ち方を確かめる。 2P5を見て、タブレット端末の活用のしかたや、タブレット端末を使う際の正しい姿勢を知る。 3以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。 【思】 筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめている。 【態】 進んで(①)筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめ(③)、学習課題に沿って(②)筆の持ち方を正しくしたり、タブレット端末を活用しようとしていたりしている(④)。
漢字の組み立て				
	部分の組み立て方①(三つの部分) [教科書P6-8] ◎三つの部分でできた漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(イ)]	毛筆 4～5	1二つの「働」を比べて、どちらの字形が整って見えるかを考え、三つの部分の組み合わせでできた漢字の字形の整え方を、友達どうしやグループで話し合う。 2P6下段の「たいせつ」を見て、三つの部分の組み合わせでできた漢字は、部分どうしの位置や大きさの関係に気をつけて書く」と字形が整うことを理解する。 3「湖」と「街」の三つの部分の外形をなぞり、部分どうしの位置や大きさの関係を確かめる。 4部分どうしの位置や大きさの関係を意識して、毛筆で「湖」や「街角」を書く。 5毛筆の学習を生かして、「湖・働・街角」を鉛筆でなぞる。	【知】 三つの部分でできた漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 【思】 毛筆で「湖」「街角」を書写するなかで、三つの部分相互の大きさや位置の関係を確かめている。 【態】 進んで(①)三つの部分の組み立て方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)三つの部分でできた漢字を書こうとしている(④)。
6月 7月	部分の組み立て方② [教科書P9] ◎漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(イ)]	硬筆 1	1これまでに学習した漢字の部分の組み立て方に気をつけて、鉛筆でP9の漢字を書く。 2P48-49「五年生で学習した漢字」から、部分の組み立て方が同じ漢字を選び、部分どうしの位置や大きさの関係を意識して鉛筆で書く。	【知】 漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書いている。 【思】 硬筆で漢字を書くなかで、漢字の部分の組み立て方を確かめている。 【態】 積極的に(①)漢字の部分の組み立て方に注意して(③)、今までの学習を生かしながら(②)漢字を書こうとしている(④)。
	点画のつながり			

	点画のつながりと読みやすさ 〔教科書P10-11〕 ◎点画のつながりと読みやすさの関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(イ)〕	毛筆 3～4	1二つの「ゆり」を比べて、どちらが文字と文字とのつながりを感じられるかを考え、その理由を友達どうしやグループで話し合う。 2P10下段の「たいせつ」を見て、点画のつながり(文字と文字)を意識して書くことの効果を理解する。 3「ひまわり」の「わ」と「り」を書くときの文字と文字とのつながりを指でなぞって確かめる。 4点画のつながりを意識して、毛筆で「ひまわり」を書く。 5毛筆の学習を生かして、「ひまわり・ゆずり葉」を鉛筆でなぞる。	【知】点画のつながりと読みやすさの関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。 【思】毛筆で「ひまわり」を書写するなかで、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことの効果を確かめている。 【態】進んで(①)穂先の動きと点画のつながりを意識して(③)、学習課題に沿って(②)読みやすく書こうとしている(④)。
9月	筆順と点画のつながり 〔教科書P12-13〕 ◎筆順と点画のつながりを意識して、字形を整えて書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(イ)〕	毛筆 3～4	1筆順に従って次の画につなげて書くことを意識しながら、P12の空欄に硬筆で漢字を書く。 2P12下段の「たいせつ」を見て、正しい筆順で次の画につなげるように書くと、字形が整うことを知る。 3「情」の「りっしんべん」を指でなぞり、筆順と点画のつながりを確かめる。 4筆順と点画のつながりを意識して、毛筆で「友情」を書く。 5毛筆による学習を生かして、「友情・個性・有終の美」を鉛筆でなぞる。	【知】筆順と点画のつながりを意識して、字形を整えて書いている。 【思】毛筆で「友情」を書写するなかで、筆順に従って次の画につなげて書くと字形が整うことを確かめている。 【態】積極的に(①)筆順と点画のつながりを意識して(③)、学習課題に沿って(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
10月	文字の配列			
	用紙に合った文字の大きさと配列〔教科書P14-15〕 ◎用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)ア・エ(ア)・(イ)〕 ○感じたことや想像したことなどから、短歌や俳句をつくることができる。〔B(2)イ〕	硬筆 1 ／ 毛筆 3～4	1何行かにわたって文字を書くときのポイントを考えながら、P14の枠内に硬筆で俳句を書く。 2P15下段の「たいせつ」を見て、何行かにわたって文字を書くときのポイント(文字の大きさ、余白、行間、行の中心、字間)を理解する。 3用紙に合った文字の大きさや配列を考え、小筆(または筆ペン)で俳句「名月を…」を書く。 4毛筆の学習を生かして、任意の用紙に俳句や短歌を書く。	【知】用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。 【思】決められたサイズの用紙や枠に俳句を書くなかで、用紙に合った文字の大きさと配列を確かめている。 【態】進んで(①)用紙に合った文字の大きさと配列を考え(③)、学習課題に沿って(②)俳句や短歌を書こうとしている(④)。
11月	伝えるって、どういうこと? 〔教科書P16-17〕 ◎伝える情報の優先度や用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを工夫して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	硬筆 1～3	1二つの委員会のポスターを比べて、情報が伝わりやすいのはどちらかを考える。P17の発表用資料も参考に、情報をわかりやすく伝えるためのポイントを、友達どうしやグループで話し合う。 2P17下段の「たいせつ」を見て、伝える情報の優先度に合わせて文字の大きさや配列を工夫することの大切さや、伝え方のポイントを理解する。 3情報が伝わりやすいように文字の大きさと配列を工夫して、「SDGs集会のお知らせ」を書き直す。	【知】伝える情報の優先度や用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。 【思】「SDGs集会のお知らせ」を書き直すなかで、伝える情報の優先度や用紙全体との関係を踏まえて、文字の大きさや配列を工夫している。 【態】進んで(①)情報による文字の大きさや配列を考え(③)、学習課題に沿って(②)「SDGs集会のお知らせ」を書き直そうとしている(④)。
	ことば〔教科書P18-19〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)〕	硬筆 1	1言葉の美しさやリズムを味わいながら、「こころの色」を声に出して読む。 2今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、「こころの色」を鉛筆でなぞる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】「こころの色」をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)「こころの色」をなぞろうとしている(④)。

12月	【もっと知りたい】 みんなが使いやすい筆記具図かん 〔教科書P20〕 ◎ユニバーサルデザインの筆記具について知り、筆記具への関心を高めることができる。 〔知技(3)エ(ウ)〕	適宜	1ユニバーサルデザインとは何か知る。 2ユニバーサルデザインの筆記具の例を見て、友達どうしやグループで話し合う。 (話し合いの例) ・それぞれのどのような場合や場面で使いやすいか ・自分はどれを使ってみたいか ・ユニバーサルデザインの筆記具のアイデア など	【知】ユニバーサルデザインの筆記具について理解している。 【態】積極的に(①)ユニバーサルデザインの筆記具について知り(③)、学習課題に沿って(②)使いやすさなどについて話し合おうとしている(④)。
	【もっと知りたい】 文字の歴史 〔教科書P29-31〕 ◎文字の歴史を大まかに理解し、書写学習への関心を高めることができる。〔知技(3)ウ・エ(ア)〕	毛筆 1 ／ 硬筆 1	1「万葉集」「源氏物語」「雨ニモマケズ」について、知っていることを発表し合う。 2それぞれの作品がどのような文字で書かれたかを考え、絵と文字を線で結ぶ。 3P30-31を見て、漢字の誕生と伝来、仮名の誕生について理解し、興味をもった点、さらに調べてみたい点などについて話し合う。	【知】漢字の誕生と伝来、仮名の誕生などの文字の歴史について、大まかに理解している。 【思】〔文字の大まかな歴史を確かめている。〕 【態】積極的に(①)文字の歴史について知ろうとし(③)、学習課題に沿って(②)興味をもった点、さらに調べてみたい点などについて話し合おうとしている(④)。
	書写広げたい<国語> 〔教科書P32-33〕 ◎情報を効果的に伝えるために、文字の大きさや配列を工夫して、パンフレットを書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。〔B(1)ア・ウ・オ・カ、(2)ア〕	硬筆 1	1パンフレットで推薦したいものを決め、情報を集める。 2集めた情報をもとに、パンフレットの構成や割り付け、文章の内容を考える。 3P33の筆記具の写真を見て、筆記具それぞれの特徴や、P32のパンフレット例に見られる工夫とその効果について、友達どうしやグループで話し合う。 4P32のパンフレット例や解説を参考に、文字の大きさや配列、筆記具を工夫して、情報を効果的に伝えるパンフレットを書く。 5友達どうしやグループで読み合って、感想を伝え合う。	【知】文字の大きさや配列、筆記具を工夫して効果的に書いている。 【思】〔パンフレットを作成するなかで、情報を効果的に伝えるために、文字の大きさや配列、筆記具を工夫している。〕 【態】進んで(①)文字の大きさや配列、筆記具を工夫し(③)、学習課題に沿って(②)情報を効果的に伝えるパンフレットを書こうとしている(④)。
適宜	書写ブック			
	一年生 横書きの書き方 〔教科書P22〕 ◎(1年生で主に学習した)点画の書き方や文字の形に注意しながら書くことができる。 〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	適宜	1(第1学年で主に学習した)筆使いと字の形(外形)のポイントを振り返る。 2横書きの書き方やノートの書き方を確かめ、筆使いと字の形(外形)の学びを生活に生かすという意識をもって、横書きでノートに書く。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら書いている。 【思】〔ノートに横書きで書くなかで、1年生で主に学習した知識・技能の生かし方を考えている。〕 【態】進んで(①)1年生で主に学習した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かしながら(②)ノートに横書きで書こうとしている(④)。
	二年生 げんこう用紙の使い方 〔教科書P23〕 ◎(2年生で主に学習した)点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)〕 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。〔B(1)ウ・オ〕		1(第2学年で主に学習した)筆順・点画の組み立て方のポイントを振り返る。 2原稿用紙の使い方を確かめ、筆順・点画の組み立て方の学びを生活に生かすという意識をもって、原稿用紙に書く。	【知】点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書いている。 【思】〔原稿用紙に書くなかで、2年生で主に学習した知識・技能の生かし方を考えている。〕 【態】進んで(①)2年生で主に学習した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かしながら(②)原稿用紙に書こうとしている(④)。

	三年生 手紙の書き方 〔教科書P24〕 ◎（３年生で主に学習した）点画の書き方への理解を深めて書くことができる。〔知技（１）ウ・エ、（３）エ（ア）〕 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。〔Ｂ（１）ウ・オ〕	１（第３学年で主に学習した）点画の種類と書き方のポイントを振り返る。 ２手紙（便箋）の書き方を確かめ、点画の種類と書き方の学びを生活に生かすという意識をもって、手紙を書く。	【知】点画の書き方への理解を深めて書いている。 【思】便箋に手紙を書くなかで、３年生で主に学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に（①）３年生で主に学習した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かしながら（②）手紙を書こうとしている（④）。
	四年生 はがきの表書き 〔教科書P25〕 ◎（４年生で主に学習した）漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。〔知技（１）ウ・エ、（３）エ（ア）〕	１（第４学年で主に学習した）部分の組み立て方のポイントを振り返る。 ２はがきの表書きの書き方を確かめ、部分の組み立て方の学びを生活に生かすという意識をもって、はがきの表を書く。	【知】漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 【思】はがきの表を書くなかで、４年生で主に学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで（①）４年生で主に学習した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かしながら（②）はがきの表を書こうとしている（④）。
	五年生 新聞の書き方の工夫 〔教科書P26〕 ◎（５年生で主に学習した）筆順と字形の関係を理解して、目的に応じて使用する筆記具を選び、書く速さを意識して書くことができる。〔知技（１）ウ・エ、（３）エ（ア）・（ウ）〕 ○事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。〔知技（２）ア・イ、Ｂ（１）ウ・エ・オ、（２）ア・ウ〕	１（第５学年で主に学習した）筆順と字形・書くときの速さ・筆記具の選択のポイントを振り返る。 ２新聞の書き方の工夫を確かめ、筆順と字形・書くときの速さ・筆記具の選択の学びを生活に生かすという意識をもって、新聞を書く。	【知】筆順と字形の関係を理解して、目的に応じて使用する筆記具を選び、書く速さを意識して書いている。 【思】新聞を書く活動のなかで、５年生で主に学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に（①）５年生で主に学習した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かしながら（②）新聞を書こうとしている（④）。
	六年生 ポスターを作るときの工夫〔教科書P27〕 ◎（６年生で主に学習した）点画のつながりや、用紙に合った文字の大きさや配列に気をつけて書くことができる。〔知技（１）ウ・エ、（３）エ（ア）・（ウ）〕 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。〔Ｂ（１）ウ・オ〕	１（第６学年で主に学習した）点画のつながり・文字の大きさ・用紙に合った文字の大きさと配列のポイントを振り返る。 ２ポスターを作るときの工夫を確かめ、点画のつながり・文字の大きさ・用紙に合った文字の大きさと配列の学びを生活に生かすという意識をもって、ポスターを作る。	【知】点画のつながりや、用紙に合った文字の大きさや配列に気をつけて書いている。 【思】ポスターを作る活動のなかで、６年生で主に学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】進んで（①）６年生で主に学習した知識・技能を振り返り（③）、今までの学習を生かしながら（②）ポスターを作ろうとしている（④）。
	書写の言葉〔教科書P28〕 ◎書写で学習した言葉を確認し、学習や日常生活に役立てることができる。〔知技（３）エ（ア）・（イ）・（ウ）〕	１今までに書写で学習した言葉を振り返り、言葉の意味や気をつけるポイントについて、適宜確認する。	【知】今までに書写で学習した言葉の意味や気をつけるポイントを理解している。 【態】積極的に（①）書写で学習した言葉を振り返り（③）、学習の見通しをもって（②）学校生活や日常生活に生かそうとしている（④）。
１月	まとめ		

2月 3月	書きぞめ [教科書P34-37・P53-56] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	硬筆 0～1 / 毛筆 6	1 書き初めとは何かについて、確かめる。 2 今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、毛筆で「感謝」や「将来の夢」を書く。 3 今までに学習した知識・技能の生かし方を考えて、硬筆で文章を書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 積極的に(①) 習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②) 書き初めを書こうとしている(④)。
	通信文を見てみよう [教科書P38] ◎伝える情報の優先度や用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことの大切さを理解することができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)]	適宜	1 P38の発表用資料や電子メールの例を見て、通信文を書くときのポイントを理解する。 2 身の回りの通信文を集めて、文字の大きさや配列の観点から、どのような工夫がされているかを考え、友達どうしやグループで話し合う。	【知】 伝える情報の優先度や用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことの大切さを理解している。 【思】 教科書の例や集めた通信文を見て、文字の大きさや配列などの工夫について考えている。 【態】 積極的に(①) 情報による文字の大きさや配列を考え(③)、これまでの学習を生かしながら(②) 通信文の配列の工夫を話し合おうとしている(④)。
	六年生のまとめ①② [教科書P39-41] ◎第6学年で学習したことを振り返り、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	毛筆 4	1 P39の『『たいせつ』のまとめ』を見て、今までに学習した知識・技能を振り返り、「旅立ちの朝」を書くときに生かせることを考え、「書写の言葉」を使って自分のめあてを書く。 2 めあてに気をつけて、毛筆で「旅立ちの朝」を書く。 3 P50-52「六年生で学習する漢字」などから、2で決めためあてに沿った文字を選んで、硬筆で書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 毛筆で「旅立ちの朝」を書写するなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで(①) 習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②) 自分で決めためあてに沿った文字を書こうとしている(④)。
	今の思いを書き残そう [教科書P42-43] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)] ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。[B(1)オ、(2)ウ]	硬筆 0～2 / 毛筆 1～2	1 小学校6年間で学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、カレンダーや色紙、黒板、書写作品集などを書く。 2 消しゴムを使ったはんこの作り方を知る。(手順にしたがって自分のはんこを作り、作品に押す。)	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 卒業の記念になる作品を作る活動のなかで、小学校6年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 積極的に(①) 小学校6年間で習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②) 卒業の記念になる作品を作ろうとしている(④)。
	私の文字／私の文字をふり返る [教科書P44-46] ◎手書き文字には、書く人によって異なる味わいがあることを理解し、6年間で学習した知識・技能や自分の文字を振り返ることができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	適宜	1 P44-45の著名人の手書きの名前を見て、書き手によって異なる文字の味わいを感じ取る。 2 小学校6年間で学習した知識・技能や、自分の文字の変化・成長した点などを振り返り、自分の文字のよいところを考えて書く。	【知】 手書き文字には人によって異なる味わいがあることを理解している。 【思】 小学校6年間で学習した知識・技能を振り返りながら、自分の文字のよいところを考えて書いている。 【態】 進んで(①) 小学校6年間で習得した知識・技能や自分の文字の変化・成長した点などを振り返り(③)、今までの学習を生かして(②) 自分の文字のよいところを書こうとしている(④)。
適宜	資料			
	平仮名／片仮名／ローマ字 [教科書P47] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)エ(ア)]	適宜	1 平仮名・片仮名の筆使い、筆順、外形などを確かめる。 2 ローマ字の書き方を確かめる。	【知】 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】 進んで(①) 点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけて(③)、今までの学習を生かしながら(②) 書こうとしている(④)。

五年生で学習した漢字 〔教科書P48-49〕 ◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)〕	1 第5学年で学習した漢字について、点画の書き方、文字の形、文字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
六年生で学習する漢字 〔教科書P50-52〕 ◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	1 第6学年で学習する漢字について、点画の書き方、文字の形、文字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
速く、読みやすく書くには<発展> 〔教科書P57〕 ◎行書について知り、中学校の書写学習への関心を高めることができる。〔中1知技(3)エ(イ)〕	1 小学校で学習してきた書体を「楷書」ということ、中学校では楷書よりも速く書ける「行書」を学習することを知る。 2 楷書と行書で書かれた「将来の夢」を比べて、筆使いの違いを考え、どのような点が違うか、友達どうしやグループで話し合う。	【知】「楷書」「行書」という言葉や、筆使いの違いを認識している。 【態】進んで(①)「楷書」と「行書」の筆使いの違いを確かめ(③)、学習の見通しをもって(②)どのような点が違うかを話し合おうとしている(④)。